

Philippine-English

A

accident-prone[アクシデント・プロウン]事故が起こりやすい

Take care! This is an accident-prone area. 「気をつけて！ここでは事故がよく起こります」

adobo[アドボ]鶏と豚を酢と醤油で煮た料理（フィリピンの代表的家庭料理） This adobo is not tasty because it lacks vinegar. 「酢が足りないので、このアドボはおいしくない」

affair[アフエア]パーティ、集い Tonight we are going to have an affair with our friends. 「今晚友人達と集まる予定です」（affair では情事の意味になることが多い。パーティの意味で使うのはややフォーマルな場合）

afford[アフォード]～の余裕がある I am so tired. Let's take a taxi. Sorry, I cannot afford. 「とても疲れたので、タクシーに乗りましょう」「ごめんなさい、お金がないの」標準英語では afford の後に目的語が必要。

aggrupation [アグルペイシオン]グループ The aggrupaton of oppositionists comprised the shadow cabinet. 「反対派のグループが影の内閣を構成した」(Tabor 1984: 65)

a-go-go[アゴウゴウ]ナイトクラブのダンサー

My brother spent a lot of money on that a-go-go dancer. 「弟はあのクラブのダンサーに大金を使った」

air-con[エアコン]エアコン It's very hot today. Please open the air-con. 「今日はとても暑いね。エアコンを入れてよ」 参照→ open air-con は Malaysia, Hongkong, Singapore など東南アジアを中心に、広く用いられている表現。

alalay[アラライ]アシスタント（文脈により、助っ人、ボディガード、子守りの意味になる）（タガログ語より由来） Shely is that movie star's alalay. 「シェリーはあの映画俳優のアシスタントです」

allergic[アレルギーック]性にあわない、我慢できない I don't like her. I'm allergic to her. 「あの女、大嫌い。鳥肌がたってくるわ」

already [オルレディ]すでに The bus has left already. 「そのバスはもう出発したよ」（標準英語では The bus has already left. となるが、フィリピン英語では文中のさまざまな箇所に already をおくことができる）

also[オルソ]～もまた He hasn't seen Maria also. 「彼はマリアとも会っていない」標準英語では He hasn't seen Maria either. 標準英語では also はおもに肯定文に使われるが、フィリピン英語では否定文でも使う。

ambiance[アムビヤンス]インテリアデザイン His presence does not fit the
ambiance of this place. 「彼がいてこの場所のインテリアが台無しにな
る」 (Cruz and Bautista 1997: 3)

Amerasian[アメラシアン]アメリカ人とフィリピン人の混血児 (American
+ Asian から) There are a lot of Amerasians living around Clark Air Base – a
former military camp deserted by the US Air Force. 「米空軍が撤収したクラ
ーク空軍基地の周りには、アメラシアンがたくさん住んでいる」 米
軍基地のあった町には混血児が多い。なお日本人との間の混血児は
Japino (Japanese + Filipino) と呼ばれる。Amerasian と Japino はともに蔑称
で、同じ意味の half American と half Japanese と比べて、父親が遺棄した
というニュアンスを含むことが多い。

American[アメリカン]白人の (国籍に関係なく白人の観光客に使うこ
とが多い) American tourists came here and bought many souvenirs. 「白人の
観光客が来て、たくさんの土産を買っていった」

americana [アメリカーナ] スーツとネクタイを着用する正装 (スペイ
ン語 americana 「上着」より) At the party the Senator wore an americana
designed by Christian Espiritu. 「上院議員はクリスチアン・エスピリツの
デザインした正装でパーティに参加した」

American time[アメリカンタイム]時間を守ること Don't be late. American
time, please. 「遅れないで下さい。アメリカンタイムをお願いします」
参照→ Filipino time

annulment of marriage [アナルメントオブマリッジ]結婚の取り消し、離
婚 He filed an annulment of his marriage, but so far he got no response from the
Church. 「彼は結婚の無効を申請したが、しかし教会から今までのとこ
ろ返事がない」 カトリックの影響力が強い国であり、離婚は建前上存
在しない。しかし結婚がそもそも最初から成立していなかったとして
教会は結婚を無効にすることができる。annulment や separation が日本の
離婚に該当する。参照→ separation

architect[アルキテクト]建築士の資格がある人、または資格の有無にかか
わらず建物を設計する人に対する敬称 Architect Galvez, kindly don't tell
him what I said. 「ガルヴェスさん、どうか私の言ったことを彼に言わな
いで下さい」 フィリピンでは、人を呼ぶとき職業名を敬称として付け
ることが多い。敬称として次のような例がある。Engineer Cruz (エンジ
ニアのクルースさん) Professor Reyes (レイエス教授) Doctora Carreon (女
医のカリオン先生) (Bautista 1997: 68)

asalto[アサルト]ビックリパーティ (assault「襲撃」より) My mother thought
that we forgot her birthday. But last night she got a big surprise when we gave her

an asalto. 「母は私たちが母の誕生日を忘れていたと思っていた。しかし昨夜ビックリパーティをしたらたいへん驚いていた」

ashamed to [アシェイムトゥ]きまりが悪い I am ashamed to you. (タガログ語の Nahihya ako sa iyo. より) 「あなたに対して気恥ずかしい」

ate [アテ] 姉さん Ate Maricel, can I borrow 300 pesos? 「マリセル姉さん、300 ペソほど貸してくれる」 参照→ kuya

Atenean [アテニアン]アテネオ大学 (Ateneo de Manila University) の学生または出身者 My ex-boy friend was an Atenean. Don't be proud of the past! 「昔の彼はアテネオ大学出身者だったのよ」「昔のことなんか自慢したって仕方ないわよ」同校はフィリピンの名門大学で、その卒業生はエリート中のエリートだが、エストラダ大統領はアテネオを中退している。

at my back [アトマイバック]私の後ろに A vendor is at my back. 「物売りが私の後ろにいる」標準英語では behind me になる。

attorney [アターニイ] 法律家に対する敬称 Attorney, I would like to ask you a question about this contract. 「先生、この契約書に関して質問したいのですが」

aware [アウェア] 気づく She was not aware her husband's affair. 「彼女は夫の浮気に気づいていなかった」標準英語では aware of となる。

B

bachelor [バチュラー] 未婚男、奥さんが遠くにいる男性 His wife is working in Singapore as a domestic helper. He is a bachelor right now. 「あの男の奥さんはシンガポールでメイドとして働いています。彼は今ひとり者ですよ」参照→ domestic helper

backer [バッカー] 背後にいて強い影響力を持った人 Don't quarrel with him. The governor is his backer. 「彼と喧嘩をするな、知事が彼の背後にいるよ」

badap [バダップ] ホモ (タガログ語より) Three badaps are working in the beauty parlor across the street. 「通りの向こうの美容院では三人のおかまが働いている」フィリピン社会はホモに対して比較的寛容であり、彼らは自分たちの存在をあまり隠そうとはしない。美容師と服装デザイナーの多くがホモであり、この分野では女性の美容師やデザイナーよりも有能であると一般に信じられている。

bakla [バクラ] ホモ (タガログ語 babae (女) + lalaki (男) より) A bakla stole three lipsticks from the cosmetic corner. 「1 人のおかまが化粧品のコーナーから 3 本の口紅を盗んだ」

bakya crowd [バクヤクラウド] 一般階級（木の靴「タガログ語で **bakya**」を履く人から）**Fans of Nora Aunor belong to the bakya crowd.**「ノラアノールのファンは一般大衆が多い」ノラアノールは庶民派の国民的女性歌手。

ballpen [ボルペン] ボールペン **My ballpen is broken. Can I use this one?**「僕のボールペンがこわれちゃった」「これを使っていい？」標準英語では **ball-point pen** か **ball-point**。

bahala na [バハラナ] 好きなようにしな、なるようになれ（タガログ語 **bahala**（責任）**na**（強意）より）**Tomorrow we have a party, but still we don't know how many people will come. Bahala na.**「明日がパーティなのに、何人のお客さんが来るのかまだ分からないわ。ええ、もうなるようになれだわ」**Andres (1994:12)**によれば、**bahala na** は災難や社会的不正を仕方がないと受け入れ、また自分の行動の結果を運に任せるというフィリピン人特有の態度を典型的に示す表現。

balikbayan [バリックバヤン] 海外の出稼ぎから帰ってきたフィリピン人（タガログ語 **balik**「帰る」+ **bayan**「国」より）**A large number of balikbayans arrived at NAIA for Christmas.**「たくさんの海外出稼ぎ者がニノイアキノ国際空港にクリスマス休暇で到着した」参照→ **NAIA**

balikbayan box [バリックバヤン・ボックス] 海外の出稼ぎから里帰りした人々が運ぶ土産を詰めた箱 **His big balikbayan box contains souvenirs for his wife and two daughters.**「彼の大きな箱は、妻と2人の娘へのお土産で一杯です」

balot system [バロットシステム] レストランで食べ残したものをウェイターに持ち帰り用に包んでもらうこと（タガログ語 **balot**「包む」より）**This is a buffet restaurant. Balot system is prohibited.**「当店はバイキング方式ですので、お持ち帰りをご遠慮下さい」ウェイターに包んでもらうときは **Balot system, please.** と言うか、タガログ語で **Pakibalot.** と言えばよい。（**paki-**は依頼するときにつける接頭辞）

bananacue [バナナキュー] バナナをバーベキューのように焼いたもの（**banana**+ **-cue** より）**My son ate two bananacues at merienda.**「息子はメリアンダの時にバナナキューを2本食べた」参照→ **-cue, merienda**

bangka [バンカ] 小舟（手漕ぎが主だがエンジン付きもあり）（タガログ語より）**We have to take a bangka to get to that barrio.**「あのバリオ（村）に行くには、バンカに乗らなければならない」参照→ **barrio, panboat**

barangay [バランガイ] 最小の行政区画（タガログ語より）**Nikkie was chosen as Miss Barangay in the beauty pageant last year.**「ニッキは昨年バランガイの美人コンテストで優勝した」元来は、スペイン人到来以前か

ら存在した数十の家族が集まった小共同体を意味する。現在では行政単位として用いられているが、相変わらず家族的集団というニュアンスが残っている。

barangay captain [バランガイキャプテン] バランガイの区長 She consulted the barangay captain about her husband's violence and drinking. 「彼女はバランガイの区長に夫の暴力と酒癖のことで相談した」

baro at saya [バロットサヤ] 女性の伝統的な服装 (タガログ語より) Elderly women at the province still wear tradional baro at saya. 「地方では年配の女性はまだバロットサヤを着ている」

barong-barong [バロンバロン] スラム地域の粗末な小屋 (タガログ語より) The poor family live in a barong-barong. 「その貧しい家族は粗末な小屋に住んでいる」

Barong-Tagalog [バロンタガログ] 伝統的な男性の正装 President Estrada attended the ceremony, wearing Barong-Tagalog, and his wife also attended, wearing terno. 「エストラダ大統領はバロンタガログを着て式典に臨み、彼の妻はテルノを着て臨んだ」 女性の伝統的な正装は terno 参照→ terno

barrio [バリオ] 小さな町、村 (スペイン語より) Mayor Santos comes from a barrio in Bulacan. 「サントス市長はブラカン地方のある町からやってきました」

based from [ベイストフロム] ~に基づいた [標準英語では based on]

His theory is based from extensive research. (彼の理論は大がかりな調査に基づいている)

basi [バシ] サトウキビから作ったお酒 (タガログ語より)

Nothing was better than a few glasses of basi to wash away the weariness from a long hard trip. 「きつい長旅の疲れを取り去るには数杯のバシ酒にまसारものはない」 (Tabor 1984:66)

batchoy [バチョイ] ヌードル Batchoy is very popular food in Iloilo. 「バチョイはイロイロ地方でたいへん人気のある食べ物です」

bath [バット] シャワー It's so hot that Mario took a bath twice this morning. 「あんまり暑いので、マリオは今朝二回もシャワーを浴びた。」 フィリピンでは一般に風呂にはいる習慣はなく、冷水シャワーを浴びる。

Bar-B-Q [バーベキュ] バーベキュ (barbecue の略語) Chicken Bar-B-Q 1ps P10.00 「チキンバーベキュ、1本 10ペソ」 (ps=pieces) アメリカ英語風に BBQ とスペルされる場合もある。

bed-spacer [ベッドスペイサー] 間借り人、ベッドを借りて住んでいる人 I have a vacancy for a bed-spacer. You can rent one of the four beds in this room. 「間借り人用のスペースが空いているよ。この部屋には4つベッドが

あるが一つ借りたらどうだい」(Platt Weber and Ho 1984:98)

beer[ビア] サン・ミゲルビール(San Miguel beer) Every time he feels frustrated, he drinks several bottles of beer. 「彼は面白くないときは、サンミゲルビールを何本か飲み干す」 フィリピンではサンミゲルが一番人気のビールであり、単に beer という場合はサンミゲルビールを示す。その他 Beer na Beer, Red Horse, Gold Eagle などの銘柄がある。

beer house[ビアハウス] ストリップキャバレー My husband and brother-in-law went to a beer house and spent 5,000 pesos. 「うちの旦那と彼の弟はビアハウスへ行って、5,000 ペソ使っちゃった」 日本のビアホールと異なり、性的なサービスが付く。

behest loan[ビヘストローン] 不正な貸付け、特に政治的影響力を持っている個人や企業に対して銀行がおこなう不正な貸付
They are accused of corruption and behest loan. 「彼らは、贈収賄と不正貸付で告発された」

Benz[ベンツ]メルセデス・ベンツ (上流階級の間で使われる言い方)
77 BENZ 123 A/C P95 T8318123 (新聞の広告) 「77 年ベンツ 123,000 マイル走行エアコン付 95,000 ペソ電話 8318123」 参照→ Mercedes

bienvenida[ビエンビニーダ] 歓迎会 (スペイン語 bienbenida より)
Tonight we should go to the bienvenida for newcomers. 「今晚は新入りの歓迎会に出席しなければならない」

biodata[バイオデータ] 履歴書 F ACCOUNTANT – FULL TIME W/ 2 YRS EXPERIENCE BIO DATA 5312123 WENG 「女性の会計係、正規採用、2 年以上の経験、履歴書送れ、詳細はウエングまで、電話番号 5312123」 (新聞の求人欄)

bird [バード] 幼児のオチンチン I found rashes at Felipe's bird, please put this cream on it. 「フェリペちゃんのオチンチンに吹き出物ができているので、この薬を塗ってね」 女の子の場合は flower という。

blow out [ブローアウト] 奢り (何かを祝ってレストランでおごること)
Let's cerebrate on your promotion. This is my blow out. 「昇進おめでとう。これは僕のおごりだ」

blue seal[ブルーシール] 輸入タバコ、輸入品 (特にアメリカから)
In the Philippines, the cigarette brand 'Marlborough' has a red seal if it is made locally and a blue seal if it comes from the USA. 「フィリピンではたばこのマールボロはフィリピン製には赤いシール、アメリカから輸入したマールボロには青いシールがはってある」 (Platt, Weber and Ho 1984: 98)
参考→ blue seal mentality は舶来崇拝、外国製は何でもすぐれていると

考える態度。

BO[ビーオー]体臭、特にわきの下の匂い。(body odor の略) My BO is terrible. I need to put deodorant under my armpits. 「私の匂いはひどいでしょう。わきの下にデオドランをつけなくちゃ」暑い国なので汗をかくことが多く、強い匂いがすることがある。タガログ語の kili-kili が使われる場合もある。参照→ kili-kili

bodega [ボデガ]倉庫 (タガログ語より) The factory manager said that there was nothing left in the bodega. 「工場長は倉庫には何も残ってないと言った」(スペイン語)

bold[ボルド]ポルノ Mommy found my bold video that I borrowed from a rental shop. 「レンタルショップから借りたポルノビデオをお袋に見つかってしまった」

bold star[ボルドスタ]ポルノ俳優 I cannot forget that bold star. She is so sexy. 「あのポルノ女優は忘れられない。彼女はとてもセクシーだ」

bolo[ボロ]刀のような形をした農作業用のカマ Do you have a bolo? Give it to me. I will go up and get some coconuts. 「ボロを持っているかい？貸してくれ。登ってヤシの実を取ってくるから」(タガログ語より)

bomba [ボンバ]ポルノ映画 (スペイン語より) Although he is only 16, he likes to watch bomba movies. 「彼は16歳だけれども、ポルノ映画を見るのが好きです」 bomba movies という表現は almanac (p.438)にある。

bombelle[ボンベール]ポルノ女優 Rosanna Roces is a bombelle. 「ロザンナ・ロセスはポルノ女優である」なおタガログ語の影響で bombera とスペルすることもある。白野(2002:47)はロサーナ・ロセースと発音する。

boss [ボス]男性に対する肩の凝らない呼びかけ。Excuse me, boss! Where is the National Book Store? 「ちょっとごめん、ナショナルブックストアはどこ？」 National Book Store はフィリピン最大の書籍チェーン店。

boundary[バウンダリー]借り賃 (運転手がジプニーやタクシーを借りて営業するときの借料、少なくとも借料を払えるだけの利益をあげることが営業の成り立つ境界線となる) Due to the decreasing number of passengers, he cannot pay a boundary. 「乗客が少なくなったので、彼はジプニーの借り賃を払えなくなった」

bourgeois[ブルジョワ]中流意識を見せびらかす人 Gabby Concepcion is bourgeois. 「ガビーコンセプションはお高くとまっている」ガビーコンセプションは有名な男優。タガログ語の burgis (ブルギス) も同じ意味で使われる。

bow[バオ]賛成する、服従する He always bows to Mr. Mendoza. 「彼はいつもメンドーサさんにぺこぺこしている」

-boy[ボーイ]召使いや使い走りを示す語で、他の語と結びつき多くの複合語が造られる。例として、house boy (下男) gasoline boy (給油所のボーイ) room boy (部屋の掃除係) watch-your-car boy (車の見張り番) がある。参照→ house boy, watch-your-car boy

bread [ブレット]食べ物全般、お金 (若い人が使う言い方) I cannot go to a movie house because I'm running out of bread. 「金がないので、映画を見にゆけない」

bring[ブリング]持ってくる Bring there. 「あそこへ持ってゆきなさい」 (Gonzalez 1983: 156) 標準英語では bring は話し手や聞き手の所へもって行くこと、take は話し手か聞き手の所から他の個所へ持って行くことを意味するが、タガログ語の dela は bring と take の両方の意味で用いられるので、その類推から混同してしばしば Bring there. (あそこへ持ってゆけ) とか Take here. (ここへ持ってこい) のように使われる。

bring home [ブリングホーム]レストランやパーティから持ち帰る If you like some food, you can bring home. 「何か好きなものがあれば、持ち帰っていいですよ」 参照→ bring house

bring house[ブリングハウス]レストランやパーティからの持ち帰り Are you hungry? You are lucky. I brought a lot of bring house. 「おなか空いている? ラッキーね。ちょうどパーティからの持ち帰りがたくさんあるよ」

brown-out[ブラウナウト]停電 There was a brown-out in Cavite. He could not prepare for the mid-term-examination. 「カビテで停電があったので、彼は中間試験の準備ができなかった」 標準英語の blackout に該当する。

bugao[ブガオ] ポン引き (タガログ語より) He is making a living as a bugao. 「彼は売春の客引きをして生計を立てている」

buko juice [ブコジュース]ココナツから作ったジュース Can I have a glass of buko juice? 「ココナツジュースを一杯いただけますか?」

burn one's eyebrows[バーンワンズアイブラウズ]一生懸命勉強をする (タガログ語の成句 Magsunog ng kilay から) He burned his eyebrows for the year-term examination. 「彼は期末テストのために一生懸命勉強した」

busted[バステッド] 恋人にふられる (男が女に) They went steady for a time and then he got busted. 「彼らはしばらくつきあっていたけど、結局男はふられちゃった」 (Bautista 1997:72)

buy-and-sell [バイアンドセル] 仲買業 She did different jobs, worked in a bank, buy-and-sell, getting what she needed and wanted. (彼女は銀行で働いたり、仲買業をしたり、様々な仕事をしながら、必要とする物を手に入れていった) Lerner 1999: 204

by and by [バイアンドバイ] 後ほど I'll do this job by and by. 「後でこの仕事はやっておくよ」 標準英語では by and by は古風な用法であるが、フィリピン英語では頻繁に用いられる。

C

cadillac [カデラック] 歩いて (タガログ語 lakad 「歩く」と音が似ていることから) I'll go by cadillac. I can't afford a taxi. 「歩いて行くよ、タクシーのお金がないから」 (Tabor 1984:68)

calesa [カレッサ] 二輪馬車 I desire to ride with her in this calesa this afternoon. 「午後は彼女とこのカレッサに乗ってみたい」 (Tabor 1984:68) イントラムロスにはスペイン時代の古いマニラが味わえるので観光客に人気がある。そこに旅行者向けの馬車がたくさんある。

call boy [コールボーイ] コールガールの男性版 A middle-aged Australian gay is looking for a call boy. 「ホモの中年オーストラリア人がコールボーイを探している」

Camp Crame [キャンプクラメ] フィリピン警察 [本部が Camp Crame にあることから] Camp Crame sources said that six suspects were caught while operating the sophisticated communication equipment. (警察の情報筋によれば、ハイテク通信機器を操作しているとき 6 人の容疑者が逮捕されたとのことである)

canal [カナル] 下水のみぞ Honey, please clean the canal in front of our house. 「あなた、家の前の下水のみぞを掃除しておいて」

cana [カナ] 白人の女性 (スペイン語より) Look at that cana. She is with an ugly man. 「あの白人女を見てごらん。醜男をつれているよ」 cana も男性形の cano もやや軽蔑の意味が入っている。

cano [カノ] 白人 (スペイン語の americano より由来) That cano is an arrogant man. 「あの白人はとても傲慢だ」 女性形は cana [カナ] 人を表す場合、スペイン語の影響で男性形は -o 女性形は -a を付けることが多い。

canto boy [カントボーイ] 学校にも行けず仕事もない少年 That canto boy is a good for nothing loafer. 「あの職なしは、ただぶらぶらしているだけだよ」 (Tabor 1984:69) street boy, street children, stand-by も同じような意味。

captain ball [カプテンボール] チーム・キャプテン (バスケットボールやバレーボールの) I support San Miguel because I am a fan of the captain ball of

that team. 「サンミゲルチームのキャプテンのファンだから、私はそのチームを応援している」

carabao[カラバオ]水牛 A carabao and a farmer working together in a rice-field is a typical scene of the Philippine province. 「水牛と農夫が水田で働いている姿はフィリピンの田園地帯の典型的な光景である」

career[キャリア]大学の学科、職業（スペイン語の *carrera* より） What career did you choose when you were studying in UP. 「フィリピン大学にいたときはどのコースを専攻していたの？」 UP は University of Philippines の略
参照→ UP

cargador[カルガドール]港で働く労働者（スペイン語より） In the pier we can find a lot of cargadors who came from provinces. 「栈橋では、地方から来たたくさんの仲仕が働いている」

carless [カーレス]車が使えないこと. My plate ends in 9. I'm carless today. （俺の車のナンバーの末尾は 9 だ。今日は車が使えない日だな[車の混雑を緩和するため、ナンバープレートの末尾の番号でマニラ中心部に乗り入れできる日が決まっている]） Bautista 1997: 59

carnap[カーナップ]車を盗む Someone carnapped my Toyota last night. 「昨夜、誰か俺のトヨタを盗んだ」派生語として *carnapping*（車を盗むこと）*carnapper*（車どろぼう）がある。標準英語では *carjack* が使われる。

cartolina[カルトリーナ]大きな厚紙（スペイン語より） Jojo put a cartolina on the blackboard and started to explain her research. 「ジョジョは黒板に大きな紙を貼って、自分の研究の説明を始めた」

casual plug[カジュアルプラグ]ラジオやテレビで番組の間の広告・宣伝 The boy ran to the ref during the tv casual plugs. 「少年はテレビのコマーシャルの時に、冷蔵庫に走っていった」（Tabor 1984:69）

centavo[センタボ]フィリピンの通貨ペソの百分の一 President Estrada swore that he had not received any single centavo from the governor. 「エストラダ大統領は知事からは一円たりとも受け取ってないと誓った」硬貨として 1, 5, 10, 25, 50 センタボの硬貨がある。近年インフレが進み小さなセンタボの硬貨はほとんど価値がなくなった。

chancing[チャンシング]偶然を装って女性の体に触れること（Gonzalez (1983:159)は、この表現は *to take a chance* より由来と推測） I'm allergic to my boss. He keeps on chancing me. 「ボスには本当にいやになるわ。いつもさりげなく私の体を触るの」

chicharon[チッチャロン]豚の皮を焼いたスナック I feel happy every time I drink beer with chicharon. 「チッチャロンをつまみながら一杯やっている

ときが幸せだ」

chip-in [チップイン] 割り勘、割り勘とする We shouldn't ask kuya too much. Chip-in is better. 「兄さんに何でもお願いしちゃ駄目だよ。費用は折半しよう」 Let's chip-in to the bill. 「割り勘でやろうよ」 標準英語では separate check (→ same check), go Dutch という。参照→ KKB

Christmas [クリスマス] クリスマスに渡すお祝い [クリスマスには Where's my Christmas? とか Merry Christmas! と声をかけて、お祝いをもらう習慣がある] "Where's my Christmas?" they say, and you are expected to hand over some coins or bills. 「クリスマスのお祝いはどこ？」と人がいう時は、なにがしかのお金をもらうことを期待している) Lerner 1999: 237

class [クラス] 上流階級 He belongs to the class. 「彼は上流階級の人だ」 the bakya class (一般大衆) の反対概念

classify [クラシファイ] 映画の検閲、評価分類をする The authority classified this movie as X-rated. 「当局はこれをポルノ (成人向け) と分類した」

close [クロウス] 消す (電気器具のスイッチを) Don't close the light! I'm still studying. 「明かりを消さないで! まだ勉強しているから」 タガログ語の isara (=close) が電気のスイッチを消すことを意味することから、close が使われる。参照→ open

coffee [コフィ] インスタントコーヒー (ネスカフェ) Give me coffee. I'm very sleepy. 「インスタントコーヒーをちょうだい。とても眠いから」 普通のコーヒーは brewed coffee という。

coke [コウク] コーラ I am thirsty. I want to drink coke. 「のどが渴いた。コーラを飲みたい」 フィリピンでは、コーラ cola よりもコーク coke という表現が一般的である。

Colgate [コルゲイト] 歯磨きペースト (ブランドにかかわらず) She went to a supermarket and bought Colgate, Kotex, Kleenex and Cut-Rite. 「彼女はスーパーへ行って、歯磨きペースト、ナプキン、ティシュペーパーと料理用の油紙を買った」 アメリカの有名なブランド名 Colgate から、歯磨きペースト一般を指すようになった。しかし、最近はさまざまなブランドが店に出回り品数も豊富になってきたので、若い人の中ではブランド名で商品一般を指すことは少なくなり、上記例文でも tooth paste, sanitary napkin, tissue paper, cooking sheet とすることが多くなってきた。

colonial mentality [コロニアルメンタリティ] アメリカなど西洋に卑屈に追従する態度 We Filipinos are still not free from the colonial mentality. 「私たちフィリピン人は、まだ外国崇拝の植民地コンプレックスが抜け切れ

ていない」

colorum[コロラム]バスやジプニーなどの公共の交通機関を違法に営業すること This law was promulgated to reduce the proliferation of colorums. 「無許可のバスやタクシーが増えるのを防ぐため、この法律が公布された」

come[カム]行く She comes to school every morning by tricycle. 「彼女は毎朝トライシクルで学校に通う」 標準英語では主語と聞き手が近づくときに come が用いられるが、タガログ語の punta は come と go の両方の意味があり、その類推から両者がよく混合される。参照→ go, tricycle

come again[カムアゲイン] もう一度言って下さい。(電話交換手が確認するときなど) "Operator." "I would like to talk to Mr. Yamanouchi." "Come again." 「交換台です」「山之内さんをお願いしたいのですが」「もう一度名前を言ってくれませんか」

comfort room[コンフォートルム] In the airport foreign tourists often give tips to janitors at comfort rooms. 「空港のトイレで、外国人は掃除係りにしばしばチップを渡す」 参照→ CR

commander[コマンダ]妻、ガールフレンド (おどけて) I need to drop by Robinson and pick up my commander-in-chief 「ロビンソン・デパートへ行き家内を拾ってこなければならない」 同じような意味で commander-in-chief、manager、general が使われる。

commission[コミッション] 賄賂 He is a good person, but he always demands commission when I ask his service. 「彼は良い人ですが、私が仕事をお願いするときは、いつも袖の下を要求します」

common tao [コモンタオ]一般の人々 (タガログ語 tao 「人」 から) The government should pay more attention to the welfare of the common tao. 「政府は庶民の福祉にもっと目を向けなければならない」

commute[コミュート]公共の乗り物に乗って通勤通学すること Every morning my niece commutes to UST by jeepney and LRT. 「私の姪は毎朝、ジプニーと LRT でサントトマス大学(the University of Santo Tomas)へ通学しています」 自家用車での通勤は commute を使わない。参照→ LRT

compromise[コンプロミス]社会的義務 (スペイン語 compromiso より) I have a compromise to support my sister who is a widow. 「妹は未亡人なので、私は援助する義務がある」

concretize[コンクリタイズ]具体化する Cite a particular Philippine historical reality that concretizes stanza 3. 「第3節を具体的に示すフィリピン史上の例を挙げなさい」 (Bautista 1997: 55)

condition [コンディション] ムード I'm not now in a condition to talk to you about business. 「今は商売の話しをする気になれないのです」

congee [コンジー] お粥

conscientization [コンセンティセイション] 社会状況を意識させること
Because of the conscientization of the Philippine realities, they began to think they should do something right now. 「フィリピンの現状を意識するようになったので、人々は今すぐ何かをしなければと考えるようになった」

constructive criticism [コンストラクティブ クリティセム] 賞賛 Most of the commentators gave constructive criticism to this foreign movie. 「批評家の大半はこの外国映画をほめた」 I am grateful to him for his constructive criticisms and suggestions. (Bernabe 1987: acknowledgment)

contract worker [コントラクトワーカー] 期間契約で海外で働いているフィリピン人 Currently millions of Pinoys are working as a contract worker outside the Philippines. 「現在、何百万というフィリピン人が海外で働いている」 参照→ OCW、Pinoy

cope up with [コウプアップウィズ] 対処する We need to cope up with difficulties. 「我々はこの難局に立ち向かわなければならない」 標準英語では cope with を使う。

cowboy [コウボーイ、カウボーイ] 陽気で楽しい人 We like him because he is a cowboy. 「とても楽しい人なので、私たちは彼が好きです」

CR [シーアール] トイレ (comfort room の略) Emergency, I have an LBM. Where is CR? 「たいへん、下痢だ。トイレはどこだ？」 参照→ LBM

crony [クローニー] 大統領や政府高官のいかがわしい取り巻き The president and his cronies have corrupted this country. 「大統領とその取り巻き連中がこの国を腐敗させた」

crush [クラッシュ] 賞賛 (心酔しているか否かにかかわらず) I have a crush on Aga Mulach. 「私はアガムラクが大好きだ」 標準英語では「～にのぼせあがる」という意味。アガムラクは有名な混血の男優。

-cue バーベキュのように焼いた食べ物を示す接尾辞。

bananacue はバナナをバーベキュのように焼いたもの。kamotecue はさつまいも (タガログ語で kamote) をバーベキュのように焼いたもの。

参照→ bananacue, kamotecue

cultural minorities [カルチュラルマイノリティズ] 少数民族 (特にジャングルや孤島に住む部族) The cultures and languages of the cultural minorities

are quickly disappearing.「少数民族の文化と言語は急速に消滅しつつある」

Cut-Rite[カッタライト] クッキングシート (ブランド名にかかわらず)
Please wrap this food with Cut-Rite.「この食べ物をクッキングシートで包んで下さい」

D

deal on[ディールオン]～を扱う、に対処する (問題など) We need to deal on this problem immediately.「我々はこの問題に即刻対処しなければならない」 標準英語では deal with になる。

DECS[デクス]教育・文化・スポーツ省 (日本の文部省に当たる) (the Department of Education, Culture and Sports の略) There was a teachers' rally in front of DECS building, asking the increase of their salary.「教育・文化・スポーツ省の前で賃上げを要求する教師の集会があった」

delicate [デリケート]敏感な、気むずかしい、うるさい I don't like him. He is always too delicate.「あの人は嫌いだ。いつも気むずかしい過ぎる」

dental clinic[デンタルクリニック]歯科医院 This morning my son went to the dental clinic for check-up of his teeth.「けさ息子は歯医者に行った」 標準英語では dental office という。フィリピンでは日本のように何回も歯医者に通わず、一回の通院で全部治療するのが普通。

despedida [デスペディータ] お別れパーティ (スペイン語より) Tonight we are going to Patric's despedida.「今晚私たちはパトリックのお別れパーティに参加します」

DH[ディーエッチ]メイドとして海外で働く人 (domestic helper の略)
Many women go to foreign countries as a DH and undergo various kinds of abuse.「多くの女性がメイドとして海外へ行き、さまざまな虐待を経験する」
参照→ domestic helper

DI [ディーアイ]ダンスの講師 (dance instructor の略) She has a crush on that dance teacher.「彼女はあのダンスの先生にのぼせ上がっている」

dirty kitchen[ダーティキッチン]日常使うキッチン My wife always cleans her dirty kitchen as her main kitchen.「家内はダーティキッチンもメインキッチンのように、いつもきれいにしています」裕福な家では台所が2つ以上あり、一つは居間の main kitchen で、お客をもてなすときに使われ通常はきれいだ。もう一つは毎日実際に料理をする台所で、これを dirty kitchen と言う。

diversion[ダイベルション]娯楽 (スペイン語の diversión より) He has a lot of diversions such as womanizing, gambling, smoking and alcohol.「彼にはたくさんの悪い習慣がある、たとえば女癖、ギャンブル、喫煙そしてアル

コールである」否定的なニュアンスがあり悪徳への性癖などを示す。

DJ [ディージェイ]用務員、管理人 (the janitor の the が d の音になり janitor の頭字 j と結びつき DJ が作られる) I asked the DJ to clean my office.
「私は用務員さんに私の研究室を掃除するようお願いした」

doctor [ドクター]博士 Doctor, could you explain this point again? 「先生、この点をもう一度説明していただけますか？」博士号所有者には Dr. Bautista のように言うのが普通。

doctora [ドクトーラ]女医 フィリピンでは医者や教員が多い。日本ではいくつかの診察を受け、まとめて会計で払うが、フィリピンではその場で支払う。

DOM [ディーオウエム]嫌らしい年寄りで、しばしば若い愛人がいる (dirty old man の略) Look at that DOM. He always walks together with a young woman. 「あの好色爺さんを見てごらん。いつも若い女を連れている」

domestic helper [ドメスティックヘルパー]メイドとして海外で働く人
Ida made a great deal of money because she worked in Hong Kong as a domestic helper. 「イーダは香港でメイドをして大金を稼いだ」 参照→ DH

dowry [ダウリー]花婿から花嫁への持参金 標準英語では花嫁から花婿へ結婚の時に男性が持参するお金、フィリピンで結婚は男性がすべて費用を負担するのが普通。結婚のために貯金するのは男の仕事である。

drops [ドロップス]分割払い How many drops do I give for this item? 「何回払いにすればいい？」 (Tabor 1984:71)

double program [ダブルプログラム]二本立ての映画 He always goes to a double program to save money. 「彼は儉約のために、映画はいつも二本立てを見る」 (Tabor 1984:71) アメリカ英語では double feature と言う。

E

eat [イット]チェスの時に、相手のコマを取ること You are not so good at chess. Look! I eat you. 「あんまりチェスは上手じゃないな。ほら、おまえの駒を取ったよ」 フィリピン家庭ではチェスやトランプが盛ん。

eat and run [イットアンラン]食後すぐ席から離れること (元来は食い逃げの意味) Sorry, I'm very busy today. I must eat and run. 「ごめんなさい、今日はとても忙しいのですすぐ出かけなければなりません」

eggs [エッグス]睾丸 "I have nothing to do." "Scratch your eggs." 「何もやることがない」「チンチンでも搔いてな」 アメリカ英語では balls である。

eligible [エリジボル]未婚の Is he still eligible? I'm just a bit interested in

him. 「あの人はまだ独身かしら？ちょっと興味があるの」

Engalog[エンガログ]英語まじりのタガログ語 He can speak only Engalog. 「彼は英語まじりのタガログ語しか話せない」 参照→ Taglish

engineer[エンジニア]エンジニアの資格を持った人への敬称 Engineer Pocamas, why don't you come here and have a seat. 「ポカマス先生、どうぞこちらへ来てお座り下さい」

enjoy[エンジョイ]楽しむ。Did you enjoy last night? 「昨晚は楽しかったかい？」 標準英語では enjoy oneself のように目的語が必要。

envelope[エンベロップ]レポーターに渡す賄賂、授与式で渡す小切手が入った封筒 At the ceremony he was given an envelope as the first prize. 「彼は優勝したので、授与式で賞金が入った封筒をもらった」

envelopmental journalism[エンベロップメンタルジャーナリズム]マスコミで慣行化している贈賄 This kind of envelopmental journalism corrupts the mass media in the Philippines. 「この種の慣行化している贈賄がフィリピンのマスコミをだめにしている」

Erap[エラップ]エストラダ大統領の愛称 A lot of people joined the anti-Erap rally to ask his resignation. 「たくさんの人々がエストラダ大統領の辞任を求め反エストラダ集会に参加した」 エストラダはもと俳優で大衆に人気があり大統領に選ばれたが、黒い噂がたち任期途中で辞任。

estafa[エスタファ]詐欺、スキャンダル（スペイン語より） Erap swore that he was not involved in this estafa. 「エストラダ大統領は、自分はこのスキャンダルとは無関係と誓った」 参照→ Erap

estero[エステロ]運河（スペイン語より） After the typhoon, a lot of garbage was floating in the estero. 「台風の去った後、その運河にはたくさんのゴミが浮いていた」

evaporate[エバポレイト]去る Don't come! Evaporate! 「来るな！とっとと消えうせろ！」

even[イーベン]たとえ…でも Even it is raining, we will go on a picnic. 「たとえ雨でも我々はピクニックにゆく」 標準英語では even if を用いる。

F

facilitate[ファシリテイト]役所での手続きを早く済ますこと If you hate a long line, you can ask a fixer to facilitate the procedure. 「長い行列が嫌なら、顔役をお願いして、手続きを早く済ますことができます」 参照→ fixer

family planning[ファミリプラニング]避妊具の使用 What family planning is the most effective? 「避妊具は何が一番効果的ですか？」 (Tabor 1984: 72)

family way[ファミリウエイ]妊娠 I heard she's in the family way. 「彼女は妊娠していると聞いています」 (Bautista 1997: 72)

father[ファーダー] エンターテイメント業のボス、またはママさんの亭主 My father asks me to work at the club even I feel sick. 「親方はあたしの体調が悪くてもクラブで働けと言う」

field[フィールド] オフィスの外 The movie director is now on field work.
「映画監督は今現場で撮影中です」

fiesta [フィエスタ] 守護聖人を祝った祭日、フルコースの食卓
Today we have a lot of food. It is like a fiesta. 「今日はたくさんのごちそうで、まるでフィエスタみたいだ」

Filipiniana[フィリピニアーナ] フィリピンに関する本（本屋や図書館などで） I found some interesting books on Philippine history at Filipiniana corner.
「私はフィリピニアーナのコーナーで、フィリピン歴史に関する面白い本を何冊か見つけた」

Filipinization[フィリピニセーション] 学校で英語からフィリピノ語に教授言語が変わること、企業の経営権が外国人からフィリピン人に移管されること The government should promote the Filipinization of sugar industries in Negros Island. 「政府はネグロス島の砂糖産業のフィリピン資本化を進めるべきである」 ネグロス島は砂糖の島という異名を持つ。

Filipinize[フィリピナイズ] フィリピン風に変えること The billboard on the street does not fit the image of our country. It should be Filipinized. 「通りの看板はこの国のイメージにあいません。フィリピン風に変えるべきです」

Filipino time[フィリピノタイム] 時間に遅れること Hurry up! You know how my boss hates Filipino time. 「急いで！ボスはフィリピノタイムを嫌がっていることを知っているでしょう」 参照→ American time

fiscalize[フィズカライズ] 権力濫用を監視する、対抗する（スペイン語 fiscal 「検察官」より） One of the important functions of the Congress is to fiscalize the President. 「国会の重要な機能の一つは大統領を監視することである」 (Bautista 1997: 54 を修正して引用)

five six 「ファイヴシックス」 高利貸し(今日 5 ペソ借りて明日 6 ペソ返すことから) I am running out of money. I have no other choice than to go to a five six. 「お金が全くなかった。サラ金へでも行くしかない」

fixer[フィクサー] 行列などに並んでいるときに、手数料を取って早く済むようにしてくれる人 If you don't want to wait long, you should find a

fixer. 「長く待ちたくないなら顔役を探すべきです」 標準英語では政財界の顔役の意味。

flying kiss[フライングキス]投げキス Happy trip! I'll give you a flying kiss.
「さようなら、投げキスをあげるわ」

flying voter[フライングボウター]不正な投票をする人、投票権は実際はないのにどこからか来て（飛んできて）投票する人 We regret that the election was rigged with many flying voters. 「残念ながら、選挙は多くの不正投票者の為に腐敗選挙になってしまった」

flyover[フライオーバー]車の高路交差・立体交差・高架道 There was an traffic accident on the flyover near the airport. 「空港の近くの立体交差で事故がありました」

for a while[フォラワイル](電話で)しばらく待つ"Can I talk to your father?" "O.K. for a while." 「お父さんとお話したいのだけど?」「はい、ちょっと待ってね」

fraternity[フラターニティ]男子学生の組織（クラブ）、自己防衛のために組織されることが多い The fraternity of this college is always fighting with other fraternities. 「この大学のフラターニティはいつも他校と喧嘩している」

free fire zone[フリーファイアゾーン]軍当局から無人地帯とされている地域、そこでは挑発や理由がなくとも軍隊は発砲する Don't go there. It is a free fire zone. 「そこに行ってはいけないよ。そこでは軍は無差別に発砲するよ」

fridaire[フリジディア]冷蔵庫（ブランドに関係なく）Sweetheart, our old fridaire is finally broken. Let's buy a new one. 「あなた、古い冷蔵庫がついに壊れちゃったわ。新しいのを買いましょうね」

FVR [エフブイアール]フィデル V. ラモス (Fidel V. Ramos) 前大統領
FVR tried to amend the constitution in order to extend his term, but received a strong criticism. 「ラモス大統領は憲法を修正し任期を延長しようとしたが、つよい批判に直面した」

FX [エフエックス]エアコン付き乗り合いタクシー You have to pay 20 pesos in FX from Cubao to Makati, but you pay only 8 pesos in jeepney. 「クバオからマカティまで FX なら 20 ペソだが、ジプニーでは 8 ペソです」

G

GI[ジーアイ]生粋のイロカノ人（おどけて）(Genuine Ilocano の略)
Viring is really GI. She often comes to a party and eats a lot, even if nobody invites her. 「ビリンは本当にイロカノ人だね。招待もされないのにパーティにやって来てたくさん食べる」イロカノ地方の人はケチで図々しいという評判がある。

gives [ギブズ] 分割払い I'm paying for this ring in four gives. 「この指輪を4回の分割払いで買ひましょう」 (Bautista 1997: 72) 家屋や土地のような大きな物の分割払いは installment を使う。

GMA [ジーエムアール] アロヨ大統領 [Gloria Macapagal Arroyo の略] GMA organized several charity shows to help the poor, which boosted her popularity. (アロヨ大統領は貧しい人のためのチャリティショーを行ったが、その結果大統領の人气が高まった)

go [ゴウ] 来る What time does she go to this house? 「何時に彼女はこの家に来ますか?」 Go here. 「ここにいらっしゃい」 タガログ語の punta は come と go の両方の意味があり、その類推から両者がよく混合される。

参照 → come

go down [ゴウダウン] 車から降りる He went down the cab in a hurry. 「彼はあわててタクシーから降りた」 標準英語では汽車・バスから降りるときは get off、車・タクシーから降りるときは get out of だが、フィリピン英語ではいずれの場合も go down を用いる。

green joke [グリーンジョウク] 卑わいな冗談 (スペイン語 cuento verde = 緑の話より) No more green jokes, please! 「下品なことを言うのはやめてください」

GRO [ジーアールオー] カラオケ店やクラブのコンパニオン (Guest Relation Officer の略) I asked a GRO to have a date with me but she said no. 「コンパニオンをデートに誘ったけれど断られた」 hostess (ホステス) が売春婦というニュアンスを含むようになったので、中立的な言葉として好まれる。

H

have [ハヴ] 月経がある I cannot go shopping today because I have. 「今日は生理なので買い物に行けない」

hazing [ヘイシング、ヘイジング] 軍隊やフラターニティ (fraternity 社交クラブ) で新入りの経験する肉体的拷問、イニシエーション、しごき

When I got into the fraternity, I had to go through three days' hazing. 「クラブに入ったとき、3日間のしごきに耐えねばならなかった」 参照 → fraternity

he [ヒィ] 彼女 Maria gave this gift. He is a nice girl. 「マリアはこの贈り物をくれた。彼女はとてもいい娘だ」 タガログ語では siya という代名詞が男女何れも指すので、その影響から男女の何れにも he を使ったり、siya の音の類似から she を両方に使ったりする。

helper [ヘルパー] 住み込みのメイド (maid 「メイド」の婉曲的表現として好まれる) She is so stingy that all her helpers leave quickly. 「彼女はとてもケチなので、メイドはみんな直ぐやめてしまう」

high blood[ハイブラッド]短気な、怒りっぽい Why are you so high blood again? What's upsetting you? 「なぜ怒っているの? どうして?」 (Bautista 1997: 55)

hold[ホールド]待つ (電話の時に…) "I would like to make an appointment." "O.K. Hold." 「予約したいのですが」 「分かりました。ちょっと待ってね」

holdupper[ホールダッパー] 強盗 (標準英語の hold up 「強盗する」 より) Yesterday holduppers broke into her house. Probably our maid is one of the members. 「昨日強盗が彼女の家に押し入った。たぶんメイドが仲間なのだろう」

hospitality girl[ホスピタリティガール] 売春婦 It was poverty that pushed her into becoming a hospitality girl. 「彼女が売春婦になったのは貧困が原因だった」 (Tabor 1984: 73)

hostess[ホステス] 売春婦 She tries to hide her past that she was once working as a hostess. 「彼女はかつて売春婦として働いていた過去を隠そうとしている」

hot[ハット] 熱望して The fans are hot to see Techie Agbayani in person. 「ファンたちはテチ・アグバヤニと直に会いたがっている」 Techie Agbayani は有名なセクシー女優 (有名大学にいたが、プレイボーイ誌に登場し退学処分を受ける)

hot chair [ハットチェア] 電気椅子 That man who raped an eight-year girl should be put in a hot chair immediately. 「8歳の女の子をレイプしたあの男はすぐに死刑にすべきだ」 フィリピンで死刑制度が近年復活したが、電子いすが長年使われず使用不可能になったことや人道的でないとの理由で、最近は薬を注射して (lethal injection) 死刑執行する。

hot tea[ハットテイ] 中華料理や日本料理のレストランで出されるお茶 At first we drank hot tea at the Japanese restaurant. 「日本料理店で最初は緑茶を飲んだ」

house boy [ハウスボーイ] 下男 He rapped on the door. … and the house boy opened the door. 「彼はドアを叩いた。すると下男がドアを開けた。」 (Bautista 1997: 66)

I

if ever[イフエバー] もしも、それゆえに If ever, we'll punish him. 「そんなわけで我々は彼を罰する」 (Gruz and Bautista 1997:28)

I'll go ahead.[アイルゴアヘッド] さようなら、おいとまします Thank you. I'll go ahead. 「ありがとう、さようなら」

I'll see.[アイルシー] いいえ "Why don't you come to the party tonight?" "I'll see." 「今日のパーティに参加したら」 「分かりました… (でも無理かな)」 参照→ I'll try.

I'll try.[アイルトライ]できません"You should finish this job before Sunday."
"O.K. I'll try."「日曜日までにこの仕事を仕上げなさい」「はい、何とかやってみますが... (たぶんできません)」参照→ I'll see.

imeldific[イメルディフィック]イメルダのように悪趣味な (Imelda + terrific から由来) You buy again such a colorful shoes. How imeldific you are!
「またそんな派手な靴を買うとは、まるでイメルダみたいね」故マルコス大統領のイメルダ夫人は、地位を悪用して土地建物、美術品、宝石、衣服などを買い集めた。1986年の政変後、マラカニアン大統領官邸に残された彼女の 5000 足の豪華でケバケバしい靴は国民の輦蹙をかった。(Guillermo and May 1997: 157-8)

immuned[イミュンド]免れた Fortunately his company is immuned from taxation.「彼の会社は幸運にも課税から免れた」標準英語では immune を用いる。

import[インポート]フィリピンのバスケット・チームのアメリカ人選手 San Miguel Team got a new import.「サン・ミゲルチームに最近一人の外国人選手が加わった」フィリピンリーグでは各チームとも 2 人の外国人選手枠がある。

in between [インビトウィン] …の間に He has no guts. He has nothing in between his legs.「彼は度胸がない。まるでタマが付いてないみたいだ」(Gruz and Bautista 1997:28) この用法は、ジニアス辞書(p.171)にもあるが、副詞で用いるだけのようである。

in front of[インフロントオブ] 向かい側で In front of our house, there was a fire.「家の向かい側で火事があった」

indigenize [インディジナイズ] フィリピンの状況に順応させること This kind of jeans will not sell well in the Philippines. It should be indigenized.「こんなジーンズじゃ、フィリピンでは売れない。もっとフィリピン人向けに仕立て直すべきだ」

ineligible[イネリジブル]単位を落とした学生・生徒 My son still goes to school every day because he is an ineligible student.「息子は単位を落としたので、まだ学校へ毎日行っています」

infanticipating[インファンティシペイティング]妊娠中
(infant + anticipating から) I am infanticipating.「私は今妊娠中よ」

intrigue[イントリッグ]職場での対立、企み、駆け引き You are intrigued by your office mates.「同僚たちはあなたに何か悪だくみを企んでいるようです」(Gonzalez 1983: 166)

irregular[イレギュラー]さまざまな理由で標準のカリキュラムを受けな

い学生 He is an irregular student because he stopped one semester. 「彼は 1 セメスターを休んだので、標準のカリキュラムは受けられない」

itch[イッチ]アレルギー My daughter has an itch to fish. 「私の娘は魚アレルギーです」

J

Japayuki[ジャパユキ]エンターテイナーとして日本に行く女性 All of her three daughters went to Japan as a Japayuki in order to support the family. 「彼女の 3 人の娘は皆、家計を助けるため日本へジャパユキとして行った」

Japino[ジャピーノ](Japanese+Filipino)日本人とフィリピン人の混血児 That Japino's father has not contacted him since he came back to Japan. 「あの混血児のお父さんは日本に帰って以来、それっきり連絡がない」

jeepney[ジプニイー]ジープのような形をした乗り合いバス When you got into a jeepney, you have to pay 5 pesos. 「ジプニイーに乗ったら、5 ペソを払いなさい」

jingle[ジングル]小便をする Hey, you. Don't jingle here. 「おい、ここで小便をするな」 Gonzalez(1983: 157)によれば、アメリカ英語の tinkle (おしっこする) からの類推。

Joe[ジョー]国籍に関係なく男性の白人観光客 (GI Joe から) Hi Joe! Can I help you? 「ハーイ、白人さん、いらっしゃい。」

Juan de la Cruz[フアンデラクルス]普通のフィリピン人 The writing of great literature cannot be done by the ordinary Juan de la Cruz. 「普通のフィリピン人によって偉大な文学作品が生まれたのではない」(Sibayan 1999:472 を修正して引用) 参照→ common tao

junket[ジャンキット]公費での海外出張 Our president spent a lot of money on unnecessary junkets. 「大統領は不要な海外訪問で多大の国費を使った」アメリカ英語では単に公費による出張を意味する。

K

kamotecue[カモテキュ]さつまいも (タガログ語で kamote) をバーベキューのように焼いたもの Are you hungry? I'll give you kamotecue. 「おなかが空いたの? じゃカモテキュをあげる」 参照→-cue

kili-kili[キリキリ]腋の下、腋の下の匂い Your kilikili smells terrible. You should take a bath. 「あんたのわきの下匂うよ。シャワーを浴びなよ」 kili-kili power という表現があり、腋の下の強い匂いを意味する。

kill joy [キルジョイ]詰まらない人 Don't invite him to the party because he is a real kill joy. 「彼をパーティに呼ばないで、場をしらけさすだけだから」 参照→ KJ

kinder[キンダー]幼稚園 The kinder teacher called me because my child was crying for me. 「子供が泣いていると幼稚園の先生が電話してきた」 (Bautista 1997: 60)

KKB[ケイケイビー]割り勘 (タガログ語の kanya-kayang bayad より) After school, we enjoyed a KKB merienda and chattering. 「授業の後、私たちは割り勘でメリエンダを食べ、おしゃべりした」 参照→ chip-in, merienda

KJ [ケイジェイ]詰まらない人 (kill joy の略) I don't want to go with him because he is a KJ. 「彼は詰まらない人なのでデートしたくないわ」

参照→ kill joy

Kleenex[クリネックス] ティッシュペーパー、トイレットペーパー (ブランド名に関係なく) Hoy, there is no Kleenex here. Bring it! I'm stuck here in CR. 「オーイ、トイレットペーパーがないよ。持ってきて。ここトイレにいるから」 参照→ CR

Kodak[コダック]カメラ、フィルム、写真 (ブランド名に関係なく) I'll take Kodak of you. 「写真を取ってあげるよ」 Go to the store and buy me three Kodak. 「お店に行って、フィルムを3つ買ってきて」

Kotex [コテックス]生理用ナプキン (ブランド名に関係なく) I feel I am going to have a period soon. I need to buy Kotex. 「もうじき生理のようだよ。ナプキンを買わなければ」

komiks[コミックス]コミック My son does not study. He is only reading komiks. 「息子は全然勉強しない、漫画ばかり読んでる」

kundiman[クンディマン]流行遅れのラブソング、演歌 (タガログ語より native song) Grandpa likes to listen to kundiman. 「おじいちゃんはナツメロが好きです」

kuya [クヤ] 兄さん (タガログ語より) My father passed away, but I could go to college because kuya paid all of my expenses. 「おやじは亡くなったけれど、兄が学校の費用を全部払ってくれたので俺は大学へ行けた」 フィリピンの家族制度では年長者が重要な地位を占める。兄弟姉妹の中でも長男と長女はそれなりの権威を持ち、年少者の面倒を見ることが多い。英語の brother, sister は年長か年少かという点に関して中立的表現なので、十分に意味を伝えられない場合がある。ホセ兄さん、マリア姉さんと呼びかけるときは Kuya Jose, Ate Maria となる。参照→ ate

L

lahar[ラハール]火山泥流 (タガログ語より) People living near Mt. Pinatubo were suffering from lahar. 「ピナツボ山の近くに住んでいた人々は火山泥流に悩まされた」 従来は英語の lava を用いていたが、ピナツボ山噴火が注目を集め、タガログ語の lahar が広く使用されるようになった。

lapad[ラパッド]日本の一万円札（タガログ語 malapad「幅が広い」より）
Every month I send limang lapad to my family in Manila.（limang はタガログ語で 5 の意味）「私は毎月マニラの家族に 5 万円送金している」日本帰り、又は日本滞在のエンターティナーの間で使われる。

lapu-lapu[ラブラブ]ラブラブ（黒色の魚）、マゼランを倒したマクタン島の首長の名 "Who killed Magellan?" "Lapu-lapu." "Then, who killed Lapu-lapu?" "…?" "The answer is a chief-cook."「誰がマゼランを殺したの?」「ラブラブ」「じゃあラブラブを殺したのは誰?」「?」「答えはコック長」（子供たちの間ではやっている謎々）辞書によっては lapulapo もある。

LBM[エルビーエム]下痢（loose bowel movement の略）I will see a doctor. I have a stomachache and an LBM.「医者に行かなければ、おなかが痛いし下痢気味だよ」

lechon[レッチョン]=litson 子豚の丸焼き（タガログ語より）No feast in the Philippines is complete without a lechon.「フィリピンではお祭りにレッチョンは欠かせない」（Butler 1997: 116）

liberation[リベレイション]日本の占領から解放された第二次世界大戦直後の時期 Your father suffered greatly during the liberation.「戦争直後には、おまえのお父さんは大変苦労したよ」

lipat bahay[リパットバハイ]引っ越しサービス（新聞広告などで使われる表現で L-bahay とも言う）LIPAT BAHAY 24 HRS. – W/5 HELPERS 743-3225「引っ越しサービス 24 時間 5 人の係員、電話番号 743-3255」

live-in[リブイン]一緒に住んでいる、住み込みの They are live-in.「彼らは同棲している（結婚はしていない）」She is a live-in maid.「彼女は住み込みのメイドです」

local[ローカル]メトロマニラ以外の地域、フィリピン国内の、フィリピン製の Local toys cannot compete with toys made in Taiwan.「フィリピン製おもちゃは台湾製おもちゃにかなわない」

long table[ロングテーブル]結婚式 When is your long table?「結婚はいつ?」

LRT[エルアールティー]マニラを南北（モニュメントからバクラランまで）に走る高架電車（Light Rail Transit の略）I was stolen my wallet while I was in LRT.「LRT に乗っていて、財布を盗まれた」

LQ [エルキュ]恋人同士のけんか[= lovers' quarrel] They love each other, but there was a time when they had a two-month LQ.（二人は互いに愛し合っているが、かつて 2 ヶ月も喧嘩をしていた時期がある）

lugaw [ルガウ]薄いおかゆ You should eat lugaw even though you have no

appetite. 「食欲はなくても、お粥は食べた方がいい」

luggages [ラゲジェス] He has many luggages. 「彼はたくさんの手荷物をもっている」 (Gonzalez 1983: 167) 標準英語では many pieces of luggage となる。参考→標準英語では単数形しか存在しないが、フィリピン英語では複数形もある語として advices, attentions, baggages, datas, equipments, evidences, furnitures, offsprings, researches などがある

M

Ma'am [マーム] 年配、金持ち、強い女性に敬意を表する呼びかけ Ma'am, can I submit my term paper tomorrow? 「先生、レポートは明日提出していいですか？」 女性教員に呼びかけるときに Ma'am を使う。フィリピンでは教員は女性が多く、小中高校の大部分、大学でも半分は女性。

macho dancer [マチョダンサー] 男娼 A lot of homosexuals and middle-aged women were enjoying watching the performance by macho dancers. 「たくさんのホモと中年女性たちがマチョダンサーの踊りを楽しんでいた」

madame [マダーム] ファーストレディ、影響力のある女性 Take care. Our madame is in a bad mood today. 「気をつけて、マダムは今日機嫌が悪い」

make love [メイクラブ] 口説く、求愛する I am a good friend of her husband. I was their constant companion when he was making love to her. 「私は彼女の夫の親友です。彼が奥さんを口説いていた頃、いつも彼らと一緒にでした」 (Andres and Ilada-Andres 1987: 140) make love は標準英語では性的関係を結ぶ意味なので、上記例文は英米ではおかしい意味になる。

management [マネジメント] 大学で学部長以上の人、会社の管理職 The management decided to fire him because of his inappropriate relationship with a female student. 「大学経営陣は彼が女学生と問題をおこしたので解雇を決めた」

manager [マネジャー] 妻 My manager called me up and asked me to buy vegetables on my way home. 「女房が電話してきて、帰りに野菜を買ってくるよう頼んできた」 妻を冗談に my boss, commander, commander-in-chief と言ったりもする。

Manila [マニラ] マニラ首都圏（マニラ市だけではなくて、周辺のマカティ、パラニヤーケ、ケソンシティーなどを含めた 4 つの市と 13 の町から成り立つ地域） She comes from Manila, actually not from Manila City but from Pasay City. 「彼女はマニラ出身だが、正確には市内ではなくパサイ市出身だ」

Maria Clara [マリアクララ] 清純、洗練、慎み深さといった女性の象徴（ホセ・リサールの小説『ノリ・メ・タンヘレ』の登場人物より） She is like Maria Clara. 「彼女はマリアクララのように清純です」

massage parlor[マッサージパーラー]売春宿 Don't go to that house. It is a massage parlor. 「あの家に行っちゃいけない。あれは売春宿だ」

masteral[マステラル]大学院レベルの、修士(号)の He submitted his pet theory to De La Salle University for his masteral thesis. 「彼は、自分のお得意の理論を修士論文としてデラサール大学に提出した」(Bautista 1997: 59 を修正して引用)

-mate 仲間を示す語で多くの複合語をつくる。batchmate (グループ仲間) dormmate (寮の仲間) office mate (会社の仲間) provincemate (同郷の人) seatmate (同席の人) boardmate (下宿仲間) などがある。Castro wanted to find out why his provincemates became one of the most passive people in these islands. 「カストロは故郷の人々がなぜフィリピン諸島の中で、もっとも活気のない人々になったか不思議だった」(Bautista 1997: 65 を修正して引用)

maybe[メイビ]いいえ "Could you finish this job before Christmas?" "Maybe." 「クリスマスまでにはこの仕事を仕上げてくれますか?」「たぶんね... (でも無理です)」フィリピン社会では、はっきりノーとは言わない傾向がある。maybe という表現で相手を傷つけず婉曲的に断る。
参照→ I'll try. I'll see.

megastar[メガスター] 有名な大映画スター I like Sharon Cuneta, who is a megastar. 「シャーロン・クネタが好きです。彼女は大スターです」シャーロン・クネタはフィリピンの有名な女優兼歌手。

mens[メンス]月経 I feel sick today because I have mens. 「今日は生理なので、気分がすぐれない」標準英語では period, menstruation。

Mercedes[メルセデス]メルセデス・ベンツ (一般大衆の間で使われる言い方) Can you imagine that he was driving a Mercedes with a beautiful woman at his side? 「彼が美人を乗せてベンツを運転してたなんて想像できるかい?」女性の名前 Mercedes の愛称から、Tsedeng, Chedeng と呼ぶこともある。参照→ Benz

merienda[メリエンダ]昼食と夕食の間に取る軽食 (スペイン語より) I am hungry. Let's eat merienda at Jollibee. 「おなかが空いた。ジャリビーで軽く食べよう」Jollibee はファーストフードの大きなチェーン店。マクドナルドと異なりフィリピン風ヌードルも出す。

mestiza[メスティーサ]混血の女性 (スペイン語より、男性形は mestizo) WANTED IMMEDIATELY PROMO GIRLS 18 to 23, 5'2 & up, smart, pretty, mestiza and honest 「販売促進ガール急募、18-23 歳、5 フィート 2 インチ以上、聡明、容姿端麗、混血、誠実」(新聞求人欄) フィリピンではメスティーサが女性美の基準とされ、女優たちの多くはメスティーサであり土着のマレー系は少ない。

mestizo [メスティーソ] 混血の男性（スペイン語より）My friend is a Chinese mestizo. 「私の友人には中国人の血が流れている」

Miss[ミス] 年配、裕福、権力のある女性（結婚しているかどうかに関係なく）Miss, can I help you? 「お客様、ご用は何でしょうか？」

mix-mix[ミックスミックス] タガログ語と英語が混合したもの、英語とタガログ語のコードスウィッチング Many Filipinos speak mix-mix which is a combination of English and Tagalog. 「多くのフィリピン人はミックスミックスと呼ばれる英語とタガログ語の混成語を話している」

monkey business[マンキービジネス] インチキな商売 You cannot trust him. He is always doing some monkey business. 「あの男を信用しちゃいけない。いつも何か怪しげな商売をしている」

morning star[モーニングスター] 目やに Clarissa! Come! I'll wipe your morning star. 「クラリッサ、おいで。目やにを取ってあげるよ」

motel[モテル] モーテル I saw them drive out of a motel last night. 「昨晚彼らがモーテルから出てくるのを目撃した」 標準英語では車で泊まるホテルだが、フィリピン英語の motel は日本のモーテル（ラブホテル）とほぼ同じ意味。

mother[マザー] 風俗店の女性経営者、ホモ、ホモのポン引き I borrowed 500 pesos in advance from mother. 「私はママから 500 ペソを前借りした」

MRT[エムアールティ] SM エドッサからマカティまで走る高架鉄道（MetroManila Rail Transit の略） As MRT was established, it is easier for me to commute from my house to the office. 「MRT ができたので、自宅からオフィスまで通勤が楽になった」 参照→ SM

MU[エムユー] 男女間で、愛が入らない友人の付き合い。（mutual understanding の略） I cannot marry you. Our relation is only MU. 「結婚はできない。我々の関係は友情じゃないか」

munisipyo [ムニシピオ] 市町村（役場）（スペイン語 municipio より） We didn't have enough money to have a wedding ceremony. We married only at the munisipyo. 「私たちは結婚式を挙げるお金はなかった。市役所で籍を入れただけです」

O

OA [オウエイ] 大げさ、ぶりっこ（overacting の略） I am embarrassed because she is OA. 「彼女の大げさな仕草にまごついた」

ob-gyn[オビガイニー] 産婦人科（obstetrician-gynecologist の略） I have a terrible bleeding this morning. Please bring me to ob-gyn. 「今日は出血がひど

いから、産婦人科へ連れて行って」

octoberian[オクトベリアン]学年末でなく 10 月に卒業する人 I am an octoberian because I was an irregular student. 「単位が取れなかったので、私は 10 月に卒業しました」

OCW[オーシーダブリュ]期間契約で外国で働くフィリピン人 (Overseas Contract Worker の略) The remittances of OCWs become a prime source of foreign exchange earnings for the country. 「海外の出稼ぎ者の送金がこの国の外貨獲得の最大の源になっている」 (Vitug 1998: 251)

ode[オド]人、場所、物を称える詩 I wrote three odes to compare Ninoy Aquino to José Rizal. 「私はニノイアキノをホセリサルになぞらえる詩を 3 編ほど書いた」 ホセリサルはフィリピン革命の英雄でスペイン植民地政府に処刑された。またニノイアキノの暗殺は、マルコス政権の崩壊のきっかけをつくった。

OFW[オーエフダブリュ]外国で働くフィリピン人 (Overseas Filipino Worker の略) Many OFWs can hardly cope up with homesickness. 「海外出稼ぎフィリピン人の多くは、ホームシックをどうすることもできない」 cope up with は標準英語では cope with となる。

officer[オフィサー]会社で管理職の人 I hear that Mr. Jesus was promoted to an officer in the company. 「ヘスースさんは会社で管理職に出世したそう」 (Jesus はジーザスと発音せず、スペイン語の影響でヘスースと発音)

oldtimer[オールドタイマー]古顔、ベテラン、合衆国で青・壮年期を過ごした年配のフィリピン人 This oldtimer is OKAY. Strong enough to drive his owner jeep. 「このご老体はまだ大丈夫だよ。自家用ジープを運転するだけの力はあるよ」 (Cruz and Bautista 1997: 40) 参照→ owner

off [オフ]恋人関係が終わった They are still on or off? 「彼らはまだ付き合っているの、それとも別れたの？」 参照→ on

on[オン]恋人関係である、婚約中の Mario and Luisa are on. 「マリオとルイザは恋人である」 参照→ off

one of our[ワンオブアウア]私たちの One of our recommendations is to stop drinking immediately. 「私たちの忠告は酒を飲むのをすぐにやめることです」 one of our は標準英語の our の意味で使われる。上記例文のように、our recommendation の代わりに one of our recommendations が使われる。(Cruz and Bautista 1997: 40)

one- two- three [ワントゥトゥリ]詐欺、食い逃げ (1,2,3 と数える間に消えてしまうから) He collected a lot of money from us and then disappeared

suddenly. We were cheated by one-two-three. 「彼はたくさんお金を集めて、突然消えちゃった。私たちは詐欺にあった」

onion-skinned[オニオンスキンド]心が傷つきやすい Don't tease my daughter. She is an onion-skinned girl. 「娘をからかわないで。この子はとても敏感で傷つきやすいから」

open[オープン]スイッチを入れる（タガログ語の bukas(=open)が、電気製品のスイッチを入れる意味で使われるため、その類推から） Can you open the radio? 「ラジオをつけてくれますか？」 参照→ close
なお Platt, Weber and Ho (1984: 111)によれば、open/close を電気製品のスイッチを入れる/切るの表現に使うのは East African, Hawaiian, Hong Kong, Malaysian, Singapore English などに見られると言う。

operator[オペレーター]タクシーやジプニーの所有者（大半の運転手は operator から車を借りて営業している。借り賃を boundary という） Today I have few passengers. But I have to pay a boundary to my operator. 「今日は商売は不調だ。でも今日の分の借り賃を所有者に払わなければならない」 参照→ boundary

OPM[オーピーエム]フィリピンの伝統的な音楽（Original Philippine Music の略） This is our OPM section. You can find any Filipino music tapes or CDs here. 「ここがフィリピン音楽のコーナーです。フィリピン音楽のテープ、CD なら何でも見つけられます」

owner jeep 「オーナージプ」非商業的なジープ（owner, private とも言う） My owner jeep is new. 「俺の個人用ジープは新車だよ」

P

pa [パ]まだ（タガログ語より） Hurry up, we will be late for the party. I have to put pa my make-up. 「早く、パーティに遅れるよ」「まだメイクしなくちゃ」

padala[パダラ]みやげなどを知人に頼んで届けてもらうこと（タガログ語より） Sometimes OFWs take advantage of Filipino tradition, padala, to ask other OFWs to send souvenirs to their families and relatives. 「時々海外のフィリピン労働者はフィリピンの習慣パダラを利用して、帰国する海外労働者に家族や親戚への土産を託す」

padrino[パドリノ]保護者、儀式親（スペイン語から、女性形は padrina 「パドリナ」） Listen, my son. When you were born, I asked the mayor to be your padrino. 「おまえ、よく聞け。おまえが生まれたとき、市長さんにおまえのパドリノになるようお願いしたんだ」パドリノは洗礼(baptism)の時の名付け親を意味する。フィリピン社会では有力者に子供のパドリノになる事を依頼してコネをつくる。こどもが成人すると就職の斡旋

を依頼したりする。その子供がパドリノを呼ぶときは、尊称としてタガログ語で **ninong** (パドリナに対しては **ninang**) と呼ぶ。これは儀礼親族制度 (コンパドラスゴ **compadrazgo**) と呼ばれ、フィリピン社会を理解する上で重要な概念である。(綾部、石井 1985: 174)

pakikisama[パキキサマ]愛想、協調性、付き合い、義理 (タガログ語より) **I should follow him. That is pakikisama.** 「彼の言うとおりにしなければならない。これが付き合いというものだ」フィリピン社会では欧米風に自分を強く主張することは少なく、日本風に自分を押さえる傾向がある。(綾部、石井 1985: 176)

PAL[パル]フィリピン航空 (Philippine Airlines の略) **Some of the airplanes of PAL are secondhand ones bought from USA or Japan.** 「フィリピン航空の機体のいくつかはアメリカや日本から購入した中古機である」フィリピン最大の航空会社だが近年倒産騒ぎで将来が危ぶまれている。

pabalat bunga[パバラット ブンガ]礼儀上、うわべだけ人を招待すること (言われた人は、真に受けてはいけない) **Thank you. I hope your invitation is not a pabalat bunga.** (ありがとう、ところで本心から招待しているのだろうね) Tabor 1984: 77 (タガログ語)

pampers[パンパース]使い捨てオムツ (ブランド名を問わず) **Don't forget to buy pampers for our baby.** 「赤ちゃんのおむつを忘れずに買ってきて」

panboat[パンボウト]中型のボート **Is there a panboat going to that island?** 「あの島に行くパンボートはあるの？」パンボートはバンカより大きく、ほとんどエンジン付きだ。フィリピンは多くの島があり、ボートや船は重要な交通手段である。参照→ **bangka**

pancit[パンシット]中国風のヌードル (中国語より) **Try our pancit Malabon.** 「私の作ったパンシット・マラボンを食べて下さい」 (Tabor 1983: 78) マラボンはメトロマニラのヌードルで有名な場所。

pant[パンツ]ズボン **My pant has a hole. Can you fix it?** 「ズボンに穴がいちゃった、縫ってくれる？」標準英語では **a pair of pants** になる。

pasalubong[パサルボング]おみやげ **She could buy some pasalubong for the folks back home.** (彼女は故郷の人へのおみやげを買うことができました) Lerner 1999: 153

pass (the house)[パス] (家に) 寄ってゆく **Last night I passed Felipe's house and drank beer together with him.** 「昨晚フェリペの家に寄って、一緒にビールを飲みました」標準英語では家を通り過ぎるの意味。

pass by (someone)[パスバイ] 人を迎えに行く、拾う **I'll pass by her at six**

o'clock. 「彼女を 6 時に迎えにゆくよ」 (Andres and Ilada-Andres 1987:136)
pass に該当するタガログ語 **dumaan** は「通り過ぎる」「立ち寄る」「行く」「迎えに行く」など多義であり、その類推からフィリピン英語では **pass** がさまざまな意味で使われる。参照→ **pass, pass for**

pass for (someone) [パスフォア] 人を迎えに行く、拾う **Can you drop by my house and pass for me tomorrow?** 「明日僕の家寄って、僕を拾ってくれるかい」

peacetime [ピスタイム] 第一次世界大戦と第二次世界大戦の間の期間
My grandpa was born in the peacetime. 「祖父は両大戦間に生まれた」

pecadillo [ペカディリヨ] 浮気、一晚の情事 (スペイン語の **pecado** からと思われる) **He cannot forget a pecadillo with the colleague's wife.** 「彼は同僚の妻との情事を忘れない」

pedicab [ペディキャブ] 自転車に乗客用のサイドカーがついた乗り物
I am tired of walking. I'll go back home by pedicab. 「歩くのが疲れちゃった。ペディキャブで帰るよ」

pentel pen [ペンテルペン] マジックペン、マーカー (ブランド名に関係なく) **Do you have a red pentel pen?** 「赤いマジックペンを持っている？」

percent [パーセント] 賄賂 **O.K. I ask him to introduce you to his boss. But you need to give him percent.** 「分かった。彼のボスにあなたを紹介するように頼んでみよう。でも彼にお礼をしなければならないよ」
参照→ **percentage**

percentage [パーセンテージ] 賄賂 **Can you follow up his application for his visa? O.K. How much is my percentage?** 「彼のビザ申請、確認してくれる？」
「分かった。で俺の取り分はいくらだい？」 参照→ **percent**

peso [ペソ] フィリピンの通貨 **Excuse me, kindly change this 1000 peso bill into ten 100 peso bills.** 「すみませんが、この千ペソ紙幣を百ペソ紙幣 10 枚に交換してくれますか」 2000 年 9 月 27 日現在で、1 ペソは 2.32 円。硬貨は 1 ペソ、2 ペソ、5 ペソがあり、紙幣は 10 ペソ、20 ペソ、50 ペソ、100 ペソ、500 ペソ、1000 ペソがある。**centavo** (センタボ) はペソの百分の一の通貨である。参照→ **centavo**

presidentiable [プレシデンシヤブル] 大統領選に立候補する見込みの [president の発音はしばしばプレズィデントではなくて、プレシデンととなる] **I think that these seven people will be presidentiable in the next campaign.** (次の大統領選では、この 7 人が立候補すると思う)

Pinay [ピナイ] フィリピン人女性 **She looks like an American but actually she is a Pinay.** 「彼女はアメリカ人みたいだが、本当はフィリピン人です」

参照→ Pinoy

Pinoy[ピノイ]フィリピンの、フィリピン人、フィリピン人男性 When Christmas season is approaching, Pinoys become happy. 「クリスマスが近づくと、フィリピン人の心は浮き浮きしてくる」 参照→ Pinay

PLDT[ピーエルディティ]フィリピン長距離電話会社 (Philippine Long Distance Telephone の略) I should go to PLDT and pay my telephone bill. 「電話局へ行って、電話代を払わなくてはなりません」 日本のように電話代を銀行口座から引き落とす制度は普及していない。

PNP[ピーエヌピー]フィリピン国家警察 (Philippine National Police の略) The PNP launched an anti-crime crackdown. 「フィリピン国家警察は犯罪防止キャンペーンを始めた」

pogi[ポギ]ハンサム (タガログ語より) Hey! Pogi, please pass the salt. 「おい色男、塩を取ってくれ」 (Tabor 1984:78)

political will[ポリティカルウイル]政府側の確信や決定 Without political will and financing, the replacement of English with Filipino will never take place. 「政府の決意や財政的な裏付けがなければ、フィリピーノ語が英語に置き換わることはない」 (Sibayan 1999: 207)

polo[ポロ]えり付きシャツ You have to ask your maid to iron your polo before you go to the office. 「オフィスに行く前に、おまえのポロシャツにアイロンをかけるようにメイドに言いなさい」 オフィスでは T シャツで勤務するのは非礼にあたり、少なくともポロシャツを着用しなければならない。同じくジーンズではなくて、スラックスを着用。

prep school [プレップスクール]幼稚園 My son is in a prep school. 「息子は幼稚園です」 prep school は nursery (4 歳以下), kinder one (5 歳児), kinder two (6 歳児) を含む。標準英語では prep school は予備校や有名大学を目指す私立高校の意味である。

presenter[プレゼンター]授与式での贈与者 At the ceremony the presenter donated a large amount of money to a home for the aged. 「授与式では、贈与者は大金を老人ホームに寄贈した」

private[プライベート]個人用のジブニー I have three private jeepneys. 「私は自家用のジブニーを三台持っている」 参照→ owner

promo girl[プロモガール] (promotion から) 商品の宣伝をおこなう女性 EXPD HI Speed Sewers, Garment Packer, Expd Promo Girl For SM 「熟練した縫子、衣料品の梱包係、SM デパートでの経験ある販売促進係を募集」 (新聞の求人欄より) 参照→ SM

promdi[プロムディ]地方からきた人、お上りさん、田舎者 (from the province の f が p の音へ the が di の音に変わって) Many of us may be city-bred, but there's a strain of "promdi" in our blood. 「我々の多くは都会で育ったのかもしれないが、我々の中には地方人の血が流れている」 (Bautista 1997: 62)

province[プロビンス]マニラ首都以外の地域、田舎 He came from the province. 「彼は田舎者だ」

psywar[サイワー]軍による心理作戦 The military started a psywar against Muslims. 「軍はイスラム教徒に対して、心理作戦を始めた」

PUV[ピーユーブイ]タクシーとして使われる小型自動車 (public utility vehicle の略) The traffic officer told the passengers to go down in areas with the sign "PUV/PUJ stop." 「交通巡査はジプニーの乗客に "PUV/PUJ stop" の標識のあるところで降りるように言った」 参照→ PUJ, go down

PUJ [ピーユージェイ]登録されたジプニー (public utility jeepney の略) Is this car PUJ? 「このジプニーは登録されているかい？」 PUJ は登録される必要がある。

public relations[パブリックリレーションズ]販売促進活動、プロモーション Our company is not good at public relations. 「当社は販売促進活動が弱い」

PX[ピーエックス]消費者用の輸入物資 (Post Exchange の略、米軍基地時代の駐屯地売店・酒保から) The Filipinos still love imports. Just count all the PX stores in the shopping areas. 「フィリピン人はまだ輸入品が好きである。ショッピング街にある PX 店の数を全部数えてごらん」 (Bautista 1997: 61)

Q

queer[クワイア]風変わりな He is a queer fellow. 「彼はおかしな奴だ」 (標準英語ではホモの意味があるが、フィリピン英語ではその意味はない)

querida[ケリーダ]情婦 (スペイン語より) The querida asked him to buy a diamond ring. 情婦は彼にダイヤモンド指輪を買ってくれるように求めた」

quorum[クオールム]麻雀やトランプ遊びをする 4 人 (スペイン語 quorum (定足数) より) Ask him to come and play cards. We need quorum. 「彼にトランプに来るように言って、4 人必要だから」

R

range[レンジ]オーブン I cannot bake bread because the range is broken. 「オーブンが壊れたから、パンを焼くことができない」

red in the face[レッドインダフェイス]赤い顔をした She suddenly became

red in the face when she remembered that. 「彼女はそのことを思い出し、突然赤くなった」

ref [レフ] 冷蔵庫 (refrigerator の略) Can you get a juice inside the ref? 「冷蔵庫の中のジュースを取ってこない?」

regional [リージョナル] メトロマニラ以外の行政地域 Not only the national police but also the regional police became on alert in response to this subversion. 「首都圏だけではなくて地方の警察も、この破壊活動に対して厳戒態勢に入った」 参照→ national (メトロマニラ地域)

relevance [レレバンス] お金、レポーターへの賄賂 What do you need? Relevance? 「何が欲しいの? お金?」 (Tabor 1984:79)

repeater [リピーター] 何らかの理由で学科、学年、テストをふたたび受け直す学生 Dianne failed in the year-term exam and she is now a repeater. 「ダイアンは試験に落ちたので、今は再度履修中です」

representation [レプレゼンテーション] 会社などで、顧客に提供されるエンターティメント I have a representation tonight. 「今夜、相手の会社が持ってくれるエンターティメントがある」

result to [リザルトウー] ～という結果になる [標準英語では result in] Overweight sometimes results to a heart attack. (太りすぎは時々心臓発作につながる)

rice to eat, (a lot of) [ライストウイト] 人生経験 (タガログ語の成句 Marami pang bigas na kakainin. より) You want to marry her? You still have a lot of rice to eat. 「彼女と結婚したいだって! まだまだ人生経験を積まなければ駄目だよ」

riding in tandem [ライディングインタンデム] バイクに乗った二人組み。よく強盗や殺し屋が 2 人でバイクに乗り、1 人が運転し 1 人が実行犯となる。

roast [ロースト] 直火にあてないで焼く、グリルで焼く This morning I roasted ham and then roasted fish. 「今朝は (直火にあてないで) ハムを焼いて、グリルで魚を焼きました。」 標準英語の roast は直火で焼き串にして肉のかたまりを焼く意味だが、タガログ語の inihaw の影響により bake か grill の意味でも使われる。上記例文は標準英語では bake ham, grill fish となる。

RTW [アールティダブリュ] 既製服 (ready-to-wear の略) SM shoemart sells quality RTW clothes. 「SM シューマートでは高級な既製服を売っている」 (Tabor 1984:79) 参照→ SM

rugged [ラゲット] ジーンズなどのカジュアルな服 My wife asked me to wear rugged clothes. 「家内は私にカジュアルな服を着るように言った」

S

sala[サラ]居間 Can you bring this TV set to sala? (スペイン語より)「このテレビを居間まで運んでくれる？」

salvage[サルベイジ] 警察や軍が裁判の前に、容疑者を殺すこと。He was salvaged by three policemen.「彼は三人の警官に片づけられた」標準英語の salvage「救う」と逆の意味になる。

sampaloc[サンパロック]タマリンド (酸っぱい味がする果物) My mother-in-law cooks fish with sampaloc.「私の義母はタマリンドで魚料理をします」

sampaguita[サンパギータ]ジャスミンに似た花、フィリピンの国花
Small children are selling sampaguita garlands in front of Quiapo Church.「小さな子供たちがキアポ教会の前でジャスミンの花輪を売っていた」教会の周辺ではこの花を糸でつないだレイを売っている。甘ずっぱい匂いで、宗教的儀式などに使う。

sari-sari store[サリサリストア]雑貨屋 My daughter often goes to a sari-sari store and buy various candies.「娘はよくサリサリストアへ行き色々なキャンディを買う」

Saudi[サウジ]中東 (サウジアラビアに限らない) Gloria is writing a letter to her husband working in Saudi.「グロリアは今中東で働いている夫に手紙を書いている」

sauna[サウナ]売春宿、性的サービスを伴うマッサージパーラー

sayang [サヤング]もったいない Why did you refuse his proposal? Sayang.「なぜ彼のプロポーズを断ったの? もったいないわ」Adventures in English 4(p.167)に「残念だ」という意味で使われている。こちらに修正すべきであった。

scotch tape[スコッチテープ] セロテープ (ブランド名に関係なく)

Our teacher said, "Don't forget to bring a scotch tape for your project tomorrow!"
「先生は、明日の課題のためセロテープを持ってくるのを忘れないようにと言った」

separation[セパレイション]別居 Is he single? No, but he is separated.「彼は独身なの? いや、でも奥さんとは別れているの」カトリックの影響で建前上は離婚が存在しないので、separation (別居) が事実上の離婚になる。参照→ annulment of marriage

security[セクリティ]セキュリティガード There were two securities with rifles at the entrance of the bank.「銀行の入り口には2人のガードがライフルをもって警戒していた」

semi-formal[セマイフォーマル]やや形式張った服装、仕事着など

Honey, we are going to church today. Please wear semi-formal. 「あなた、今日は教会に行くので、ちょっときちんとした格好をして」 semi-formal は、男ならばスニーカーやサンダルではなくて靴を履き、シャツは襟の付いたポロシャツ (polo) を着てスラックス着用を意味する。女性ならブラウスとスカートをはくことを意味する。

settler [セトラー] 不法居住者 Settlers are evicted by the police force. 「不法居住者達は警察により退去させられた」

side car [サイドカー] 自転車又はオートバイの横についている乗客用の車 I feel very painful because we five people got into the side car of a tricycle on the way to school. 「体が痛いよ、5人でトライシクルのサイドカーに乗り込んで学校に来たから」 参照→ tricycle

Signal No.3 台風警報 (すべての学校と政府機関が休みとなる) Signal No.3! Don't go out. You should stay at home. 「台風警報だよ。外出しないで家にじっとしてなさい」 Signal No.1 で初等学校が休みとなり、Signal No.2 で初等・中等学校が休校となる。

sinigang [シニガン] 果物、野菜、エビ、魚をいれた酸っぱいスープ (フィリピンの代表的なスープ) On the first day when I came back from America, Mom prepared sinigang for me. 「アメリカから帰ってきた最初の日、母はシニガンを料理してくれた」

since before yet [シンスビフォイエット] 長い間 The lazy security is taking siesta since before yet. 「怠け者のセキュリティガードは長いこと昼寝をしている」 (Cruz and Bautista 1997:49) ever since before yet と表現する。

sir [サー] 夫、世帯主、ボス、年配で金持ちで権力のある男性 Sir, could you fill in this form? 「恐れ入りますが、この書類に記入していただけますか？」

six-by-six [シクスバイシクス] 大型トラック Pedro is a truck-driver. Every day he drives six-by-six. 「ペドロはトラックの運転手で、毎日大型トラックを運転している」

slipper [スリパー] サンダル、スリッパ Look at that Japanese, he came to the bank wearing slippers. 「あの日本人を見てごらん。(紐の付いていない) サンダルで銀行に来ているよ」 日本の紐の付かないサンダルは、フィリピンでは slipper と呼ばれる。後ろに紐 (strap) が付くと sandal と呼ばれ、女性用にヒールが付くと step-inn と呼ばれる。紐が付かない slipper での外出は非礼とされ、少なくとも sandal, step-inn を履かなければならない。紐のあるなしを意識しない日本人はよくまごつく。

SM [エスエム] フィリピン最大のスーパーマーケットのチェーン店 (Shoe Mart の略) Next week I will go to SM Edsa and buy Christmas presents

for my family. 「来週は SM エドッサに行き、家族にクリスマスプレゼントを買います」 SM は元々靴屋で、現在エドッサ、メガモール、マカティ、ハリソンプラザなどに巨大モールがある。

small[スモール]背の低い She is a small woman. 「彼女は背が低い」 標準英語では short を用いる。

smuggle[スマゴル] ゴムのスリッパ Use this pair of smuggles. 「このスリッパを使いなさい」 (Tabor 1984: 80).

SO[エスオー]各省庁からの特別命令 (Special Order の略) S.O. issued by DECS ordered that the number of teachers be increased by ten percent. 「教育・文化・スポーツ省は教員の数を 10%増やすように命令した」

social[ソーシャル]社交的な Casilda gets along with various kinds of people. She is a very social woman. 「カシルダはいろいろな友達と付き合う。彼女はとても社交的な女性です」 標準英語では sociable の方がよく使われる。

soft [ソフ]柔らかい (肉が) My three teeth are gone, so I like to eat soft meat. 「歯が 3 本ほどなくなったので、柔らかい肉の方がいい」 標準英語では tender を使う。なお three teeth の発音はトリティトになる。

solon[ソロン]上院と下院の国会議員 We have an honor of having two solons at today's conference. 「今日はこの会議の席に、光栄にも 2 名の議員をお迎えしております」 マコーレの辞書の p.2018 にある。

sorority[ソロリティ]女子学生の組織/クラブ (しばしば自己防衛の目的で組織される) I have not yet decided to join the sorority even though she recommended me to do so. 「彼女が勧めてくれるけれども、女子学生クラブに入会すべきか迷っているの」 参照→ fraternity

sound off [サウンドオフ]～の考えを語る。 Before starting discussion, we need to sound off his opinion. 「議論をはじめる前に、彼の意向を打診しておく必要がある」 標準英語では sound out である。

sparrow[スパロウ]NPA (新人民軍) の派遣した暗殺者 That corrupt mayor was assassinated by a sparrow. 「あの腐敗した市長は NPA の刺客によって暗殺された」 参照→ NPA

ST[エスティ] ポルノ (ソフトコア) (sex trip の略) My friend was really enchanted with that ST Queen. 「友人はあのポルノ女優に本当にのぼせあがった」 ST Queen は ST の女優を指す。

stand-by[スタンドバイ]仕事もなくぶらぶらしている人 Don't get married to him. He is only a stand-by. 「あんな男と結婚してはいけません。彼は定

職もなくぶらぶらしているだけです」

starlet[スターリット]映画での女性の端役 He has a trip to a starlet of the movie. 「かれはその映画の端役に惚れ込んだ」 標準英語では女優の卵、売り出し中の女優。参照→ trip

stateside[ステイツサイド]アメリカ合衆国と関連するもの、高級品
I bought these stateside chocolate from Shangri-La. 「私はこの輸入品のチョコレートを買った」

stay-in[ステイイン]住みこみで働く人 He is working at a relative's shop as a stay-in. 「彼は親戚の店に住み込みで働いている」

step-in[ステップイン]かかとのあるサンダル The heel of my step-in is broken. 「私のステッピンのかかとがとれちゃった」 参照→ slipper
マコーレーの辞書 p.2076 はフィリピン英語としている。

stick[ステック]タバコ 1 本 The jeepney driver bought a stick of Marlborough from a vendor. 「ジプニーの運転手は、物売りからマールボロを 1 本買った」 タバコは 1 箱ごとではなく、1 本ずつ購入することが多い。

stroke[ストローク]仕掛け He is good at doing different strokes in winning women's heart. 「彼は女性の心を掴むのに、さまざまな仕掛けを試みるのが上手だ」

studentry[ステューデントリ]学生たち The university does not only serve the needs of its studentry but also other professionals and researchers in the country. 「大学は学生のニーズだけでなく、この国の他の専門職や研究職の人のニーズにも応えている」

subdivision[サブディヴィジョン]高級住宅地 He bought a house in a subdivision near New Manila. 「彼は、ニューマニラの近くの高級住宅地で家を購入した」 標準英語では単なる分譲地だが、フィリピンでは高級というニュアンスがある。

sugar daddy[シュガーダディ]若い愛人がいる年配の男性 She has a sugar daddy to ask a financial support. 「彼女にはお金をせびるパトロンがいる」 参照→ DOM

sugar mommy [シュガーマミー]若い愛人がいる年配の女性 Why do you have a lot of money these days? Maybe, you find a very generous sugar mommy. 「最近金回りがいいね。気前のいい金持ちのおばちゃんでも見つけたんだろう」

summer[サマー]3 月から 5 月の期間、4 月から 5 月の学校の休み、またはその期間の授業 I don't like summer because it is very hot. I am waiting for the coming of June. 「夏は暑いのでいやだ。早く 6 月が来ないかな」 一般のフィリピン人にとり、夏は一番暑い 3 月から 5 月（聖週 [Holy Week]

後から 6 月の第 1 週) までを指す。6 月から 8 月は雨期で比較的涼しい季節である。

summerian[サマーリアン]サマークラスの後で卒業する人 He is a summerian because he finished his degrees during summer. 「彼はサマークラスで単位を終了して卒業した」 参照→ octoberian

sunkist [サンキスト]オレンジ (ブランド名に係わらず) Mommy asked me to go to sari-sari store to buy two sunkists. 「ママは私に雑貨店へ行って、オレンジジュースを 2 本買うように言った」 Miss! How much is this sunkist per kilo? 「ねえさん、このオレンジ 1 キロいくら？」

sward[スワルド]ホモ Most of the beauticians in this parlor are sward. 「この美容院で働いている美容師の大半はホモです」

sweet[スウィット]ゆったりしたダンスミュージック They danced to sweet. 「彼らはスウィットに合わせて踊った」

T

table[テブル]客のテーブルにホステスが付くこと

Taglish[タグリッシュ]タガログ語まじりの英語、タガログ語と英語のコードスイッチング Pinoys speak Taglish which is a combination of English and Tagalog. 「フィリピン人は英語とタガログ語が混ざったタグリッシュを話す」 参照→ Engalog, Pinoy

take[テイク]連れてくる Take him here. 「ここに連れてきなさい」 (Gonzalez 1983:156) 参照→ bring

take home[テイクホーム]持ち帰りの Two hamburgers, two coffee, take home. 「ハンバーガー二つ、コーヒーを二つ、お持ち帰り」 標準英語の take out もよく使われる。

tao [タオ]人 (タガログ語より) Senator Manlangit made a speech, asking the common tao to be more self-reliant. 「マンランギット上院議員は一般の人々にもっと自活するように要求した」 参照→ common tao

tasty[テストィ]アメリカン・パン (もともとはブランド名) Let's buy tasty. 「アメリカン・パンを買おう」

tea[ティ]ティーバッグのお茶、リプトンティー In the Philippines people drink tea only when they get sick or catch cold. 「フィリピンでは熱いお茶を飲むのは、病気になったり風邪を引いたときだけです」 参照→ Chinese tea

technocrat[テクノクラト]政府のために働くビジネスマン、又は知識人 Due to a lack of technocrats, the development of economy is relatively slow

compared to other Asian countries. 「テクノクラートが不足しているので、経済発展は他のアジア諸国に比べて比較的のろい」 標準英語では技術畑の行政官である。

telescope[テレスコップ]双眼鏡 Hiding in the bush, he observed the movement of birds with a telescope. 「彼は草むらに隠れて、鳥の動きを双眼鏡で観察していた」 標準英語の telescope は望遠鏡の意味。

tennister[テニスター]テニスプレイヤー I like that tennister because he is so handsome. 「あのテニスプレイヤーはハンサムなので好きです」

terno[テルノ]女性の豪華な正装 A Filipina looks most beautiful when she wears terno. 「フィリピン女性はテルノを着ているときが一番美しい」

Texas[テキサス]闘鶏用の鶏の一種(テキサスから輸入した赤茶色の鶏) I will bet 100 pesos on that Texas. 「俺はあのテキサスに 100 ペソ賭けるよ」 闘鶏(cockfighting) はフィリピンでは国民的な熱狂を呼んでいる。Talisay(白黒の闘鶏) Bulik(まだら色の闘鶏) などが人気がある。また Lemon, Bacolod などもある。

TH[ティーエイチ]努力家(trying hard の略) She is really a TH dancer. 「彼女は本当にダンスに一生懸命だ」 努力はするが、余り上手でないというニュアンスがある。

than[ダン]～よりも Today's wine is superior than yesterday's wine. 「今日飲んだワインは昨日のワインよりも美味しい」 標準英語では is superior to ～を用いる。

throw out [トローアウト]吐く I feel sick, I am going to throw out. 「気持ちが悪い。吐きそうだ」→ Gonzalez (1983: 160)によれば、throw up(吐く)との混同からとしている。

tisay[ティサイ]混血(女)(スペイン語の mestiza から) She has a fair complexion because she is a tisay. 「彼女は混血だから色白だ」

tisoy[ティソイ]混血(男)(スペイン語の mestizo から) That tisoy's grandpa speaks Spanish fluently. 「あの混血のおじいさんはスペイン語を流ちょうに話す」

TL[ティーエル]恋人(true love より) You are my TL. 「君は僕の本当の恋人だよ」

TNT[ティエヌティ]常に隠れている不法移住労働者(タガログ語の tago-ng-tago から) Police caught two TNT. 「警察は2人の不法労働者を逮捕した」

tomboy[トムボーイ]男のような着こなしや振る舞いをする女 Citas looks like a tomboy, but she is feminine in her heart. 「シータは男みたいだけど、心は女らしい」 標準英語の tomboy はおてんば娘。

tong[トン]賄賂、警官への袖の下（福建語から） A traffic police again, we must give him tong. 「また交通警察がいるよ。袖の下を渡さなければならない」

toning[トーニング]水を用いた迷信的な儀式 They believe in toning. 「かれらはトーニングを信じている」 (Tabor 1984: 82) エジプト起源といわれ、病人を直す儀式などがある 80 年代にはやったカルト。

topnotcher [トップノチャー] 国家試験でトップ 10 に入った人、(皮肉で) 最後に入った人 He was bright and a topnotcher at the bar examination. 「彼は聡明で、司法試験でトップテンにはいった」

traffic [トラフィック] 交通渋滞 Sorry I'm late; it was so traffic. 「遅れてごめんさい、とても混雑していたので」 (Cruz and Bautista 1997: 54)

transparent [トランスパレント] 正直な Mr. Ocampo is very transparent. I trust him. 「オカンポさんはとても正直なので、信頼しています」

trapo[トラポ] 伝統的な政治家 (traditional politician の略)、雑巾 (タガログ語で trapo は雑巾の意味) Many trapos promise the same old things to the masses – to lesson taxes, to give houses to squatters and to crack down crimes. 「古くからの政治家たちは、税の軽減、不法居住者への住宅の提供、犯罪の取り締まりなど、依然と変わらぬ公約をする」 Wipe the windows with a trapo. 「窓を雑巾で拭きなさい」 @ スタインバーグ (2000: 301) には「テクノクラートとトラポスの間の緊張関係」とあるが、この両者は対比して使われるようである」

travel tax[トラベルタックス] 出国税 Filipinos have to pay 1,620 pesos as travel tax every time they go overseas. 「フィリピン人は外国に行くごとに、出国税として 1,620 ペソを払わなければならない」

tricycle[トライシケル、トライシクル] オートバイに乗客用のサイドカーのついた乗り物 Every morning she goes to school by tricycle. 「彼女は毎朝トライシケルで通学している」 trike ともいい、その運転手は triker と呼ばれている。

trip[トリップ] 趣味、陶醉、夢中 She has a trip to that macho man. 「彼女はあの男っぽい奴に惚れ込んでいる」

tsismis [チスミス] うわさ (タガログ語より) Did I mention about her tismis yesterday? 「昨日彼女のうわさ話をしたっけ？」 標準英語では mention about の代わりに mention を用いる。tsismis は gossip, rumor という語より encompassing であると Asian Englishes Vol.1 No.1 p.64 で述べている。

turn left[ターンレフト] 浮気する、政治的に左翼に転じる He spread the

canard that Maria has turned left and has abandoned her husband in Saudi for another. 「彼は、マリアが不倫をして、中東で働いている夫を見捨てたという噂を流した」 (Tabor 1984: 83 を修正して引用)

turo-turo restaurant [トゥロトゥロレストラン] 指で示し注文する安いレストラン (タガログ語 turo 「指で示す」より) Ricky manages a turo-turo restaurant. 「リッキーはトゥロトゥロレストランを切り盛りしている」 (Tabor 1984: 83)

TY [ティワイ] ありがとう (Thank you の略) "Please drink this juice." "TY." 「どうぞ、このジュースをお飲みなさい」「ありがとう」

U

uncle [アンクル、アンケル] おじ Uncle Hermen, be relaxed. Please think this is your house. 「ヘルマンおじさん、リラックスして下さい。ここをおじさんの家と考えて下さい」 おじ uncle、おば aunt はほとんど家族の一員で、甥 nephew 姪 niece からは親のように慕われる。フィリピン社会では親族間のつき合いが日本よりはるかに緊密である。uncle, aunt の代わりに、タガログ語の tito (tiyo), tita (tiya) が使われることもある。また近所の人が親しくなっていて uncle, aunt と呼ばれ、家族同様の扱いを受けることがある。family という概念は日本よりはるかに広い。

under the saya [アンダーダサヤ] 女上位、恐妻 (スペイン語 saya 「スカート」より) Mr. Toledo has a reputation that he is always under the saya. 「トレド氏は恐妻家であるという評判だ」

UP [ユーピー] フィリピン大学 (University of the Philippines の略) UP is one of the most prestigious universities in the Philippines. 「フィリピン大学はフィリピンで最も権威ある大学の一つである」

up for you [アップフォユー] 君に任せる O.K. It's up for you. 「OK. 君に任せるよ」 標準英語では It's up to you.

utang na loob [ウタンナロオブ] 恩義 One who has incurred an utang na loob is expected to repay the recipient when the latter needs help. 「恩義を受けた人は、恩人が困ったときには、恩を返さなければならない」 (Tabor 1984:83) utang na loob は the debt of gratitude (恩義) としばしば英訳される。しかしフィリピン人同士の会話で、この the debt of gratitude は座わりが悪いと感じられ utang na loob がよく使われる。フィリピン社会では借りた恩義は返すのが当然とされ、社会を理解する上で重要な概念である。

V

vacant [ベイカント] 恋人が現在いない、恋人募集中 She is vacant right now. You have a chance. 「彼女は今恋人がいないよ。君にもチャンスがあるよ」

venue [ベニユ] 会合の場所 I hear you have a party. Where is the venue? 「パーティがあると聞いたけれども、場所はどこ？」標準英語の venue のようにあらたまったニュアンス、法律的な意味はない。

viand [バイアンド] 料理、たいてい米に肉がそえられた簡単な料理
Because the children are picky, some viands go untouched or merely tasted. 「子供達は好き嫌いがあり、いくつかの料理は手が付けられてないか、申し訳程度に箸をつけただけだった」 (Bautista 1997: 57)

videoke [ビデオケ] 大きなスクリーンのついたカラオケ (video+karaoke より) Let's go to a videoke shop and sing songs. 「ビデオケ店へ行って、歌を歌おう」

vigilante [ビジランテ] 政府に雇われた殺し屋 That activist was killed by a vigilante. 「あの活動家は政府の殺し屋に殺されたのだ」

village [ビリッジ] 中流・上流の人々の居住地 They are living in a veterans' village in Project 7, Quezon City. 「彼らはケソンシティのプロジェクト 7 にある退役軍人のための居住地に住んでいる」

W

watch your car [ワッチユアカー] 駐車してある車を小銭をもらって見張りをする人。Clara gave the watch-your-car a ten peso bill. 「クララは見張りの子供に 10 ペソ紙幣を上げた」 (Tabor 1983:84) 同様に car boy や watch-your-car urchin とも言う。

Webster [ウェブスター] 辞書 The teachers always tell their students to check Webster. 「先生達はいつも学生達に辞書を引くようにと言っている」

wet chicken [ウェットチキン] 悲惨な目にあっている人、みすぼらしい人 (タガログ語の basang sisiw から) What happened? You look like a wet chicken. 「どうしたの？ ひどい格好じゃないの？」

white leghorn [ホワイトレグホーン] 白人女性の (レグホンは白い鶏なので) My cousin has a girl-friend who is white leghorn. 「いところには白人のガールフレンドがいる」

wire [ワイア] コード The wire of the iron is entangled. Please fix it. 「アイロンのコードが絡まっちゃったので、直して下さい」

working holiday [ワーキングホリディ] 休日だけれども仕事しなければならない日 July the 4th is a working holiday for me, because my boss told me to come to the office. 「7 月 4 日 (独立記念日) に働かなければならない。ボスがオフィスに来るように言うから」

X

xerox[シーロックス] コピー He asked me to send him a xerox of this document. 「彼はこの書類のコピーを送れと言ってきた」 zerox[シーロックス] とスペルされることもある。

Y

yaya[ヤヤ] 泊まり込んで世話をするベビーシッター Our yaya is a terrible girl. Let's find a new one. 「私たちのヤヤはひどいわ。新しいヤヤを見つけましょう」 時間決めて子供の世話をする場合は babysitter という。

yes いいえ "Let's go to the movie house." "Yes ... maybe, some day." 「映画を一緒に見に行こうよ」「そうね、いつの日か（今日はだめ）」フィリピンでは相手の感情を害さないため、しばしば yes-no をはっきりさせない。この点は日本人と同じ。なお付加疑問文での yes-no の使い分けも日本語と同じである。Didn't you tell me he has already arrived? Yes. 「彼はもう到着したと君はいわなかったね?」「はい、言っていない」(Gonzalez 1983:162)

Z

zerox[シーロックス] コピー Your son is really a zerox copy of you. 「息子さんは本当にあなたと瓜二つだね」 参照→ xerox

zoning[ゾウニング] 反乱の鎮圧 There was a zoning in this place. 「反乱の鎮圧行動がこの一体地帯であった」（現在では、サンボアング地方だけに使われる、犯罪多発地帯や治安の悪い個所に軍や警察が非常事態宣言をすること）

参考資料

Andres, Tomas D. (1994) Dictionary of Filipino Culture and Values.

Quezon City: Giraffe Books.

Andres, Tomas D. and Ilada-Andres, Pilar B. (1987) Understanding the Filipino.

Quezon City: New Day Publishers.

Bautista, Maria Lourdes S. (1997) "The Lexicon of Philippine English,"

in Bautista, Maria Lourdes S. (ed) (1997) pp.49-72

Bautista, Maria Lourdes S. (ed) (1997) English Is an Asian Language.

Australia: Macquarie Library Pty Ltd.

Bautista, Maria Lourdes S. (1998) "Tagalog-English Code-Switching and the Lexicon of Philippine English," Asian Englishes. vol.1 no.1. pp.51-67

Butler, Susan (1997) "Corpus of English in Southeast Asia: Implications for a

Regional Dictionary," in Bautista, Maria Lourdes S. (ed.) (1997) pp.103-124

Cruz, I.R. and Bautista, Maria Lourdes S. (compiled) (1997)

A Dictionary of Philippine English. Pasig: Anvil Publishing.

Gonzalez, A. (1983) "When does error become a feature of Philippine English?"

in Noss, R.B. (ed) (1983) pp.150-172

Gonzalez, Andrew. 1985. Studies on Philippine English.

- Singapore: SEAMEO Regional Language Centre.
- Guillermo, Artemio R. and May, Kyi Win (1997) Historical Dictionary of the Philippines. Maryland: Scarecrow Press.
- Johnson, Lawrence (ed) (1984) Mini-Dictionaries of Southeast Asian Englishes. Singapore: SEAMEO Regional Language Centre.
- Kintanar, T.B. and associates (1996) Cultural Dictionary for Filipinos. Quezon City: University of the Philippine Press.
- Lerner, Ted. 1999. Hey, Joe. Germany: Book of Dreams Verlag
- Magno, Alexander R. (1998) A Nation Reborn (Kasaysayan: the Story of the Filipino People No.9). New York: Asia Publishing.
- Noss, R.B. (ed) (1983) Varieties of English in Southeast Asia, Singapore: SEAMEO Regional Language Centre.
- Platt, J.T. and Weber, H. and Ho, M.L. (1984) The New Englishes. London: Routledge and Kegan Paul.
- Sibayan, Bonifacio P. (1999) The Intellectualization of Filipino. Manila: The Linguistic Society of the Philippines.
- Tabor, Myrna G.A. (1984) "Filipino English Mini-Dictionary" in Johnson, Lawrence (ed.) (1984) pp.65-84
- Vitug, Marites Danguilan (1998) "The Great Filipino Diaspra," in Magno, Alexander R. (1998) pp.252-256
- 綾部恒雄、石井米雄 (編) 1995. 『もっと知りたいフィリピン』 東京：弘文堂